



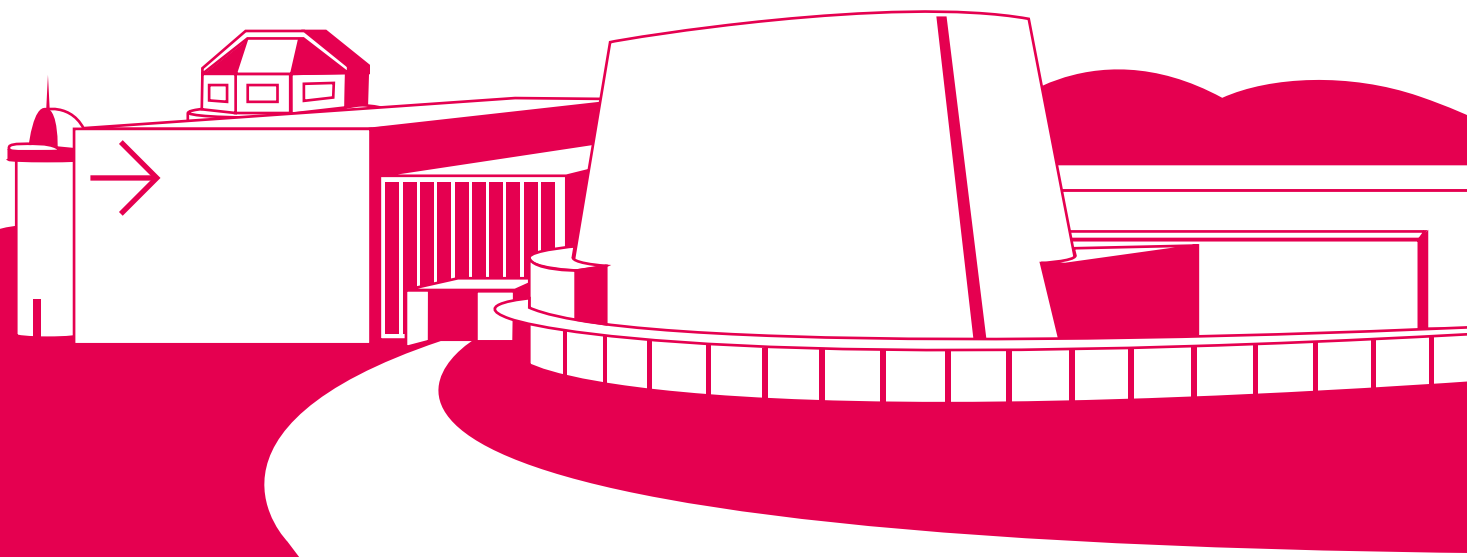
SENDAI ASTRONOMICAL OBSERVATORY
仙台市天文台

年報

ANNUAL REPORT

第18号

2025年度



利 用 案 内

開 館 時 間

9：00－17：00（土曜日は 21：30 まで ※展示室は 17：00 まで）

休 館 日

水曜日・第 3 火曜日（祝休日の場合はその直後の平日）

※ただし、上記の場合でも仙台市の学校長期休業中は開館

12 月 29 日－1 月 3 日

他に臨時休館日を設けることがある

利 用 料 金

		個 人	団 体
展示室	一般	610	480
	高校生	350	280
	小・中学生	250	200
プラネタリウム 1 回	一般	610	480
	高校生	350	280
	小・中学生	250	200
セット券 （展示室＋ プラネタリウム 1 回）	一般	1,000	810
	高校生	610	480
	小・中学生	400	320
天体観望会	一般・高校生	200	－
	小・中学生	100	－
年間パスポート	一般	3,000	－
	高校生	1,800	－
	小・中学生	1,200	－

※団体は 30 名以上（30 名につき 1 名無料） ※未就学児無料

プラネタリウム

投 映 時 間

	10：00－	11：30－	13：00－	14：30－	16：00－	18：00－
平 日	団体専用枠			○	○	－
土曜日	○	○	○	○	○	○
日曜・祝日 長期休業中	○	○	○	○	○	－

住 所

宮城県仙台市青葉区錦ヶ丘九丁目 29 番地の 32

電 話 番 号

022－391－1300

FAX 番 号

022－391－1301

U R L

www.sendai-astro.jp

交 通 案 内

- ・東北自動車道仙台宮城 IC から国道 48 号線経由
約 10 分（駐車場 125 台）
- ・愛子観光バスにて、仙台駅西口「52 番」停留所
から「錦ヶ丘行」約 30 分、「錦ヶ丘七丁目北・天文台
入口」下車、徒歩 5 分
- ・タケヤ交通「仙台西部ライナー」にて、仙台駅西口
「63 番」停留所から「かわさきまち行」約 23 分
「仙台市天文台」下車すぐ



目 次

利用案内

年報 2025 年度巻頭言	2
---------------	---

I 天文台概要

1 沿革とあゆみ	3
2 2025 年度記録写真	7
3 施設	8
4 運営方針	9
5 組織	11
6 管理運営費	12
7 施設の概要（平面図）	13

II 2025 年度事業報告

1 マネジメント業務	14
2 活用促進業務	15
3 観測研究業務	16
4 教育支援業務	16
4-1 学校教育	16
4-2 生涯学習	17
5 天文普及業務	18
5-1 展示	18
5-2 プラネタリウム	19
5-3 望遠鏡	19
5-4 アウトリーチ活動	20
5-5 大学・関連機関連携	21
5-6 天文情報提供	21
6 資料収集業務	22
7 メディア制作業務	22
8 広報業務	22
9 窓口業務	23
10 管理業務	23
11 利用状況	25
12 来館者アンケート結果	26

III 2025 年度事業報告 資料	33
--------------------	----

IV 資料

1 仙台市天文台条例	52
2 仙台市天文台条例施行規則	56
3 仙台市天文台望遠鏡機材占有利用に関する規約	59
4 仙台市天文台望遠鏡活用指針	63
5 仙台市天文台運営協議会委員	65
6 株式会社仙台天文サービスについて	66

年報 2025 年度巻頭言

仙台市天文台（以下天文台）は、PFI（Private Finance Initiative）方式により、民間企業が「新仙台市天文台整備・運営事業」に基づいた設計・建設、運営・維持管理を 33 年間に渡り行っている施設です。設計・建設の 3 年間も含めると、2025 年度で 20 年目を迎えました。

仙台市が「新仙台市天文台整備基本構想」を策定したのが 2001 年ですので、構想から四半世紀を経ていることになります。年号も平成から令和に移り変わり、新しい時代の科学・技術の状況は、当時は想定しえなかったのであろうと思えます。例えば、施設整備に関わる要求水準書におけるデジタルアーカイブのハードディスクの容量は 1 テラバイトであり、今では心もとない容量といえます。当然、当時の予算内で用意できる状況には限りがあったことから、多くの事項・事象において未来の事業者に改善を託していたのだとも考えます。

四半世紀を経て、未来を託された私たちは、維持管理・運営において「より良い天文台」をつくるべく、設置者である仙台市と連携をしながら、毎年工夫を重ねてきたと考えております。今年度も以下に示すような「より良い天文台」を目指した活動を行ってまいりました。この頁の後には、詳しい報告も載せておりますので、私たちの工夫を読み取っていただくと幸いです。

今年度の天文台の活動として特筆すべき目新しい活動は 3 つありました。そのうち 2 つは、仙台市が予算化し、私たち事業者に貸与していただいた機器による活動です。

1 つは、移動天文車ベガ号による活動です。ベガ号は西公園に天文台があったときから継続して利用してきた移動天文車でした。昨年度、その車体を一新し、これまで使っていたクーデ式望遠鏡を再設置し、今年度より活動を開始しました。天文台のブランドカラーである SAO レッド（Sendai Astronomical Observation's Red）の車体が、主として仙台市内に年間 57 回出動しました（予定 62 回のうち 5 回は悪天候等によるキャンセル）。車体のユニークさだけでなく、華やかな色合いは、移動中も天文台の活動を宣伝してくれたものと思います。また、クーデ式望遠鏡や汎用望遠鏡だけの観望ではなく、新たに購入していただいた電視観望望遠鏡も用いて色鮮やかな天体像も観察していただきました。

もう 1 つは、キャッシュレスシステムと web 予約システムの導入です。ここ数年、多くのお客様からの要望があり、仙台市にて予算化していただいたものです。利用開始が年度末の 3 月となったことから、その効果は、まだまだ現れてはいませんが、システムが導入されたことが周知されるにしたがって、多くのお客様の利便性に寄与するものと考えております。

最後の 1 つは、「全国プラネタリウム研修会 2025・仙台」が開催されたことです。天文台が 1955 年に開台してからずっと大切にしてきた学校教育との連携実践を、全国のプラネタリウム関係者に紹介いたしました。参加者から多くの反響があり、これまで大切にしてきたことの再確認ができたと考えます。

最後に今年度は、2023 年度から 3 年間にわたる中期計画の最終年度でした。核となる取り組みとして、望遠鏡・展示室・プラネタリウムを連携活用する「エクスペリエンスサークル」を意識した活動を行いました。その活動が参加された皆様にとって「宇宙を身近に」し、更には「天文学リテラシーを向上」し、結果として人生や生活が豊かになったと感じていただければうれしい限りです。なお、この「年報」のほかに「研究・実践紀要」を公開しております。こちらにおいても、天文台におけるスタッフや市民の研究・実践活動の一端が報告されております。ぜひ、活動の一端をご覧くださいますようお願い申し上げます。

天文台スタッフ一同、これからも市民の天文台として市民が「宇宙を身近に」感じられ、市民に愛される施設になるよう努力してまいります。今後ともご指導・ご支援のほどよろしくお願い申し上げます。

仙台市天文台 台長 小野寺正己

I 天文台概要

1 沿革とあゆみ

1954 年 (S29)	4 月	天文台建設発起人会, 建設委員会結成, 建設募金運動展開
	9 月	天文台建設着工 (施工: 橋本店)
	12 月	41cm 反射望遠鏡 (西村製作所製) 組立
1955 年 (S30)	2 月	開台, 観覧業務開始 寄付金及び募金総額 238 万円 「仙台天文台」として建設委員会が運営にあたる
1956 年 (S31)	9 月	建設委員会から仙台市に寄付, 採納
	10 月	初代台長に加藤愛雄就任
	11 月	仙台市天文台として観覧業務を開始 (文化観光課所管)
1957 年 (S32)	7 月	移動天文教室実施
1960 年 (S35)	4 月	仙台市文化観光課から教育委員会指導室所管となる
	5 月	学校教育活動として, 中学校の天文台実習開始
1963 年 (S38)	12 月	企画展「江戸時代仙台藩の天文数学展」開催
1964 年 (S39)	12 月	展示室新設
1968 年 (S43)	5 月	展示室竣工
	5 月	プラネタリウム館開館 (プラネタリウムは前年河北新報社から寄付)
	5 月	企画展「望遠鏡展」開催
1969 年 (S44)	8 月	プラネタリウム幼児向け投映開始
1970 年 (S45)	2 月	天文台所蔵の渾天儀, 象限儀, 天球儀が市指定有形文化財となる
	10 月	第二代台長に小坂由須人就任
1971 年 (S46)	10 月	講義室, 資料室, 作業室竣工
1973 年 (S48)	12 月	41cm 反射望遠鏡の主鏡と凸面鏡を更新 (木辺鏡) 41cm に同架されていた 10cm 屈折望遠鏡を 15cm 屈折望遠鏡に更新
1974 年 (S49)	1 月	プラネタリウム館内及び本体機器 (五藤光学研究所製) に更新
1975 年 (S50)	5 月	開台 20 周年, プラネタリウム館開館 7 周年記念式典挙行
	5 月	移動天文教室用自動車更新
	9 月	事務室増築
1976 年 (S51)	12 月	天文台ドーム, 床取替え工事竣工
1978 年 (S53)	6 月	宮城県沖地震により 41cm 反射望遠鏡使用不能となり解体
1979 年 (S54)	2 月	41cm 反射望遠鏡 (三鷹光器製) 完成
1980 年 (S55)	5 月	プラネタリウム館, 展示室増改築完成竣工
	5 月	企画展「望遠鏡展」開催
1981 年 (S56)	3 月	22 点の展示品設置
1982 年 (S57)	4 月	太陽面爆発観測装置 (五藤光学研究所製) 完成
1985 年 (S60)	3 月	開台 30 周年記念誌「30 年のあゆみ」発行
1986 年 (S61)	5 月	新型プラネタリウム導入 (五藤光学研究所製), 観覧席更新
1991 年 (H3)	4 月	第三代台長に岡崎三夫就任
1993 年 (H5)	3 月	移動天文車ベガ号導入 (五藤光学研究所製 20cm クーデ望遠鏡搭載)
1998 年 (H10)	4 月	第四代台長に渡辺章就任
1999 年 (H11)	1 月	仙台市教育局内に「天文台のあり方に関する検討会」発足
	2 月	同上プロジェクトチーム発足

2001 年 (H13)	8 月	新仙台市天文台整備基本構想策定
	12 月	実入館者数 300 万人達成
2002 年 (H14)	6 月	新仙台市天文台整備基本計画策定
2003 年 (H15)	3 月	新仙台市天文台整備事業 PFI 手法導入可能性調査報告
	4 月	第五代台長に蓮池芳明就任
2004 年 (H16)	5 月	新仙台市天文台整備・運営事業に PFI 導入決定 (BOT 方式)
	11 月	新仙台市天文台整備・運営事業入札
2005 年 (H17)	1 月	開台 50 周年記念式典・講演会を国際センターにて開催
	2 月	新仙台市天文台整備・運営事業落札者決定
	3 月	事業者間協定・株主間協定締結
	4 月	株式会社仙台天文サービス (SPC) 設立
	4 月	事業契約書 (仮) 締結
	6 月	事業契約書 本契約へ移行 ・事業方式: BOT 方式 ・事業期間: 平成 17 年 6 月ー平成 50 年 3 月 ・事業範囲: 設計及び建築設備, 特殊機材, 什器・備品等保有, 事業期間終了時までの施設の維持管理及び運営業務
2006 年 (H18)	3 月	プロジェクト契約締結 (構成企業各社との業務委託契約)
	5 月	新・天文台工事着手
2007 年 (H19)	4 月	第六代台長に渡辺章就任
	12 月	錦ヶ丘に新・仙台市天文台竣工 西公園の仙台市天文台終了 (実入館者数 3,505,674 人) 仙台市こども宇宙館閉館
2008 年 (H20)	1 月	PFI 方式での株式会社仙台天文サービスによる維持管理開始
	4 月	PFI 方式での株式会社仙台天文サービスによる運営開始
	4 月	第七代台長に土佐誠就任
	6 月	博物館法に基づく博物館登録
	7 月	指定管理開始
	7 月	錦ヶ丘にリニューアルオープン
	7 月	ファンサポーター制度運用開始
	7 月	国立大学法人東北大学理学研究科と連携と協力に関する協定を結ぶ
	7 月	特別展「□(スペース)のみた宇宙」開催
	8 月	スタッフサポーター養成講座開始
	12 月	「100 万人のキャンドルナイト」初開催
	12 月	「ソラリスト」創刊
2009 年 (H21)	3 月	企画展「日時計の楽しみ」開催
	4 月	スタッフサポーター活動開始
	6 月	リニューアルオープンから入館者数延べ 50 万人達成
	7 月	企画展「宇宙の謎を解き明かす」開催
	7 月	国立大学法人宮城教育大学と連携協力に関する協定を結ぶ
	7 月	ブレインサポーター制度運用開始
	11 月	企画展「仙台芸術遊泳 平野治朗の『137 億光年の旅』」開催
	1 月	2010 年のテーマを「2010 年宇宙の旅」に設定

	2月	第1回「天文台まつり」開催
	4月	オーナーサポーター制度運用開始
	7月	企画展「ダンボールプラネット（平面から立体へ）」開催
	12月	巡回企画展「はるかなる宇宙の旅」開催 リニューアルオープンから入館者数延べ100万人達成
2011年（H23）	1月	2011年のテーマを「はかる」に設定
	2月	大型望遠鏡の愛称が「ひとみ」に決定
	3月	東日本大震災のため、12日以降臨時休館（－2011年4月15日）
	3月	仙台市生涯学習課天文台係による運営業務（学校教育支援業務） に関する暫定措置終了
	7月	企画展「はかる」開催
	9月	東日本大震災に伴う大型望遠鏡復旧工事完了（2011年9月30日）
2012年（H24）	1月	2012年のテーマを「たべる」に設定
	7月	企画展「たべる」開催
	9月	天文台所蔵の渾天儀、象限儀、天球儀が国指定重要文化財となる
	10月	リニューアルオープンから入館者数延べ150万人達成
2013年（H25）	1月	2013年のテーマを「うつす」に設定
	3月	仙台市生涯学習課天文台係による運営業務に関する暫定措置終了
	4月	仙台天文同好会と連携協力に関する覚書を交わす 天文ボランティアうちゅうせんと連携協力に関する覚書を交わす
	7月	企画展「うつす」開催
2014年（H26）	1月	2014年のテーマを「光」に設定 企画展「光の謎を解き明かせ！」開催
	7月	企画展「オーロラを体感しよう！」開催
	7月	特別展示「富谷隕石がやってきた！」開催
	9月	リニューアルオープンから入館者数延べ200万人達成
2015年（H27）	1月	2015年のテーマを「起源」に設定
	2月	開台60周年
	7月	「仙台市天文台開台60周年 ミヤギテレビ開局45周年記念 宇宙兄弟展 仙台会場」 開催
2016年（H28）	4月	2016年度のテーマを「宮沢賢治」に設定
	7月	企画展 KAGAYA「銀河鉄道の夜」開催
2018年（H30）	1月	更新工事のため展示室の観覧休止（－2018年2月28日）
	2月	リニューアルオープンから入館者数延べ300万人達成
	3月	施設の大規模メンテナンスに伴う臨時休館（－2018年3月31日）
	4月	展示室リニューアルオープン
2019年（H31）	1月	改修工事のためひとみ望遠鏡の運用休止（－2019年3月31日）
2019年（R1）	7月	企画展「宇宙たんけんプラネット～だれもしらない惑星にいこう！～」開催
2020年（R2）	2月	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、展示室のみ開館 （－2020年4月10日）
	4月	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、臨時休館（－2020年5月20日）
	5月	展示室再開
	6月	プラネタリウム再開

	7月	天体観望会再開
	7月	名誉台長に土佐誠就任
	7月	第八代台長に小野寺正己就任
2021年 (R3)	3月	仙台藩天文学器機が 2020 年度 (第 3 回) 日本天文遺産に認定
	3月	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、臨時休館 (ー2021 年 5 月 11 日)
	5月	ミュージアムカフェ (そらかフェ) オープン
	8月	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため臨時休館 (2021 年 8 月 30 日ー9 月 12 日)
2022年 (R4)	2月	リニューアルオープンから年間パスポート 1 万人達成
	3月	企画展「宇宙をさわる」開催 (6 月 5 日まで)
	9月	リニューアルオープンから入館者数延べ 400 万人達成
2023年 (R5)	1月	更新工事のためプラネタリウムの投映休止 (ー2023 年 4 月 28 日)
	4月	プラネタリウムプレオープン
	6月	プラネタリウムリニューアルオープン
	10月	企画展示「仙台のプラネタリウム史」開催
2024年 (R6)	10月	車両更新のため移動天文車ベガ号稼働終了 (2025 年 4 月リニューアル)
2025年 (R7)	2月	開台 70 周年
	3月	改正博物館法に基づく博物館再登録
	4月	移動天文車ベガ号新車両での稼働開始
	7月	企画展示「極限時空・ブラックホールと重力波」開催
2026年 (R8)	3月	キャッシュレスシステム・web 予約システム導入

2 2025 年度記録写真



移動天文台 ～ベガ号で星空ウォッチング～



展示ツアー「地動説を唱えた人々」



企画展示「極限時空・ブラックホールと重力波」



公開サイエンス講座



全国プラネタリウム研修会 2025・仙台



スペースラボ 2025



天文台まつり 2026



特別観覧会「皆既月食をみよう!!」

3 施 設

(1)所 在 地	宮城県仙台市青葉区錦ヶ丘九丁目 29 番地の 32	
	北緯 38 度 15 分 22 秒 99	
	東経 140 度 45 分 18 秒 56	
	標高 165m	
(2)面 積	敷地面積	25,039.76 m ²
	建築面積	4,802.66 m ²
	延床面積	6,056.24 m ²
(3)構 造	鉄筋コンクリート造及び鉄骨鉄筋コンクリート造，一部屋根鉄骨造，地上 3 階	
(4)主 要 施 設	ひとみ望遠鏡観測室及び制御室，観察室及び制御室，観察デッキ，プラネタリウム，展示室，加藤・小坂ホール，学習室，資料室，メディアセンター，実験室，天文工房，天文ライブラリー，オープンスペース，ミュージアムショップ，ミュージアムカフェ	
(5)施 工	設計監理	NTT ファシリティーズ
	建築工事	戸田・橋本共同企業体
	望遠鏡工事	NTT ファシリティーズ
	プラネタリウム工事	五藤光学研究所
	展示室工事	トータルメディア開発研究所
(6)駐 車 場	来館者用 120 台，身障者用 5 台，大型バス用 6 台，職員用 20 台	
(7)建 築 費	建物（設計監理含）	2,128,763,000 円
	備品等	46,000,000 円
	望遠鏡類	600,000,000 円
	プラネタリウム	500,000,000 円
	展示室	480,000,000 円

4 運営方針

(1)基本理念

仙台市天文台は、市民の寄付により設立された市民による市民のための天文台である。また、このことを1955年の開台以来大切にしてきた社会教育施設である。その精神は、PFI という手法により民間業者が運営することで、更に継続・発展された形となっている。

このように仙台市天文台は、「宇宙や天体を通して市民が自然や科学を学び、仙台市の文化・教育水準の向上に貢献すること」を基本理念とした施設であり、その理念は開台より継承されている。

(2)ミッション（使命）

仙台市天文台では、基本理念のもとに一貫した情報を発信していくための指針としてミッション（使命）を設定している。ミッションは大きく以下の3つの要素で構成され、これらをスタッフ間で共有することで統一感のある活動を展開している。

①マインド・アイデンティティ（施設理念）

「宇宙を身近に」

質の高い天文情報を、身の回りのものごとと関連づけて示し、生きた対話を生み出します。

②ビヘイビア・アイデンティティ（施設活動）

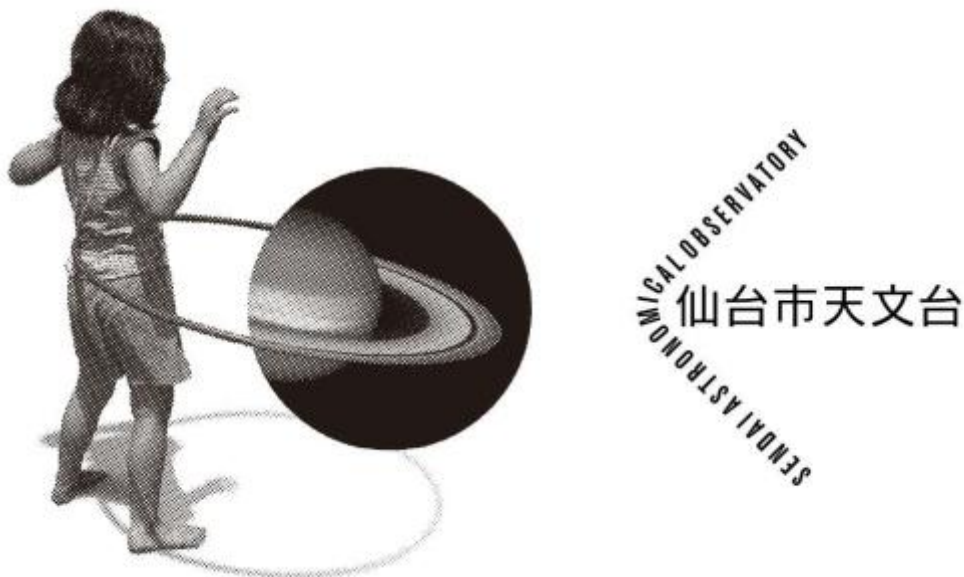
【天文観測】市民の「宇宙を観る眼」となります

【調査研究】市民にとっての「宇宙の魅力」を引き出します

【教育普及】市民を「宇宙の世界」へと誘います

③ビジュアル・アイデンティティ（施設表現）

メッセージコラージュ（左）によって宇宙と身の回りのものごとを対比し、矢印ロゴ（右）によってそのつながりを指し示すことで、宇宙を身近に感じてもらいます。



土星の周囲を回転する環を形成する粒子を、日常の世界で少女の腰の周りを回るフラフープに例えています。

(3)中期計画（2023－2025 年度）

仙台市天文台では3年ごとに中期計画を策定している。その目的と策定方法は以下のとおりである。

①目的

- ・PDCA サイクルによる業務改善
- ・目標の明確化による施設一丸の体制づくり
- ・内部評価による運営の健全性の証明
- ・博物館法及び要求水準の履行

②策定方法

2023 年度より社会的インパクト・マネジメントの考え方を導入し、ロジックモデルを用いて計画を策定した。今後は当モデルをもとに以下のサイクルに則って事業運営を推進、評価を行っていく。

- ・計画（Plan）…ロジックモデルの作成。評価指標の設定
- ・実行（Do）…プロセス管理。指標に関するデータ収集
- ・効果の把握（Assess）…データの検証と分析
- ・報告・活用（Report & Utilize）…分析結果の報告。事業改善に活用

（仙台市天文台中期計画（2023－2025 年度）ロジックモデルより抜粋）

活動	アウトプット（結果）	アウトカム（成果）		
		直接	中間	最終
具体的活動	積極的な交流活動により発見を促す	来館により日常と宇宙とのつながりを発見する	身近な出来事に科学・宇宙との関わりを感じる市民の増加	宇宙が身近な社会 ～市民の天文学リテラシーの向上～
	日常と天文をつなぐ企画の実施			
	多くの市民の日常に天文情報を届ける	暮らしの中で日常と宇宙とのつながりを発見する		
	多くの市民の日常に天文体験を届ける			
	天文体験や交流を重視したプログラムの充実	体験的な活動により学びの意欲が向上する	科学・宇宙に継続的な興味と好奇心をもって接する市民の増加	
	施設活動を体験できるプログラムの充実			
	小中高校における天文分野の学習支援	学校教育における天文分野の学習内容を習得する	科学的な知識を身に付け、天文現象を正しく理解できる市民の増加	
	学校教員等の天文指導者の育成に寄与			
	小中高校における天文分野の再学習機会の提供			
	天文学を学べるプログラムの充実	施設の諸活動をととして天文学の知識等を習得する	事象の中に自ら疑問を見出し、科学的な手法を用いて追及する市民の増加	
	天文学探求プログラムの開発と実践			
	市民や研究者間の交流活性化	科学的な思考力、表現力が向上する		
	研究成果発表の場の提供		研究しやすい環境が整っている	
	研究設備の充実とその周知	科学者や天文学者を志す		
	研究を支援する体制の構築			
	科学者・天文学者と市民との接点づくり	豊かに生きる社会づくりへの意識が高まる		
	天文学や施設活動をととして持続可能な社会づくりに貢献する			

5 組 織

<職員一覧> (2026 年 3 月 31 日現在)

名誉台長	土佐 誠	総務係 (庶務)	奥津 美起
台長	小野寺正己	総務係 (庶務／広報)	村上 尚美
ヘルプデスク	大瀧 美波	受付	佐藤 和子
副台長兼運営マネジャー	大江 宏典		佐藤ふじ子
維持管理総括責任者兼維持管理マネジャー			佐藤由美子
	岩渕 克徳		長崎いづみ
維持管理マネジャー代理	石垣 智宏		三浦さつき
運営マネジャー代理兼総務係サブマネジャー		維持管理	伊藤美恵子
	鈴木真理子	設備	川上 直哉
運営サブマネジャー (企画・交流係)		警備	大浦 康広
	仲 千春		君塚 雅隆
企画・交流係	迫 千紘		佐藤 敏雄
	須藤 未来	清掃	阿部 遥
	高橋 知也		佐藤 春子
	千田 華		鈴木 徳恵
	千田 守康	ミュージアムショップ	小林 明美
	林 菜の子		高木美智子
	細谷 直斗		早坂 暢子
	松下 真人		早坂 典子
企画・交流係 (メディア制作)	大村 加也	ミュージアムカフェ	小坂橋佳奈
企画・交流係 (情報・保守)	布施 雄司		小島 幸文
			平松 純子
		移動天文車運転手	岡崎 勇
			佐々木芳隆
			成瀬 朋弘

6 管理運営費

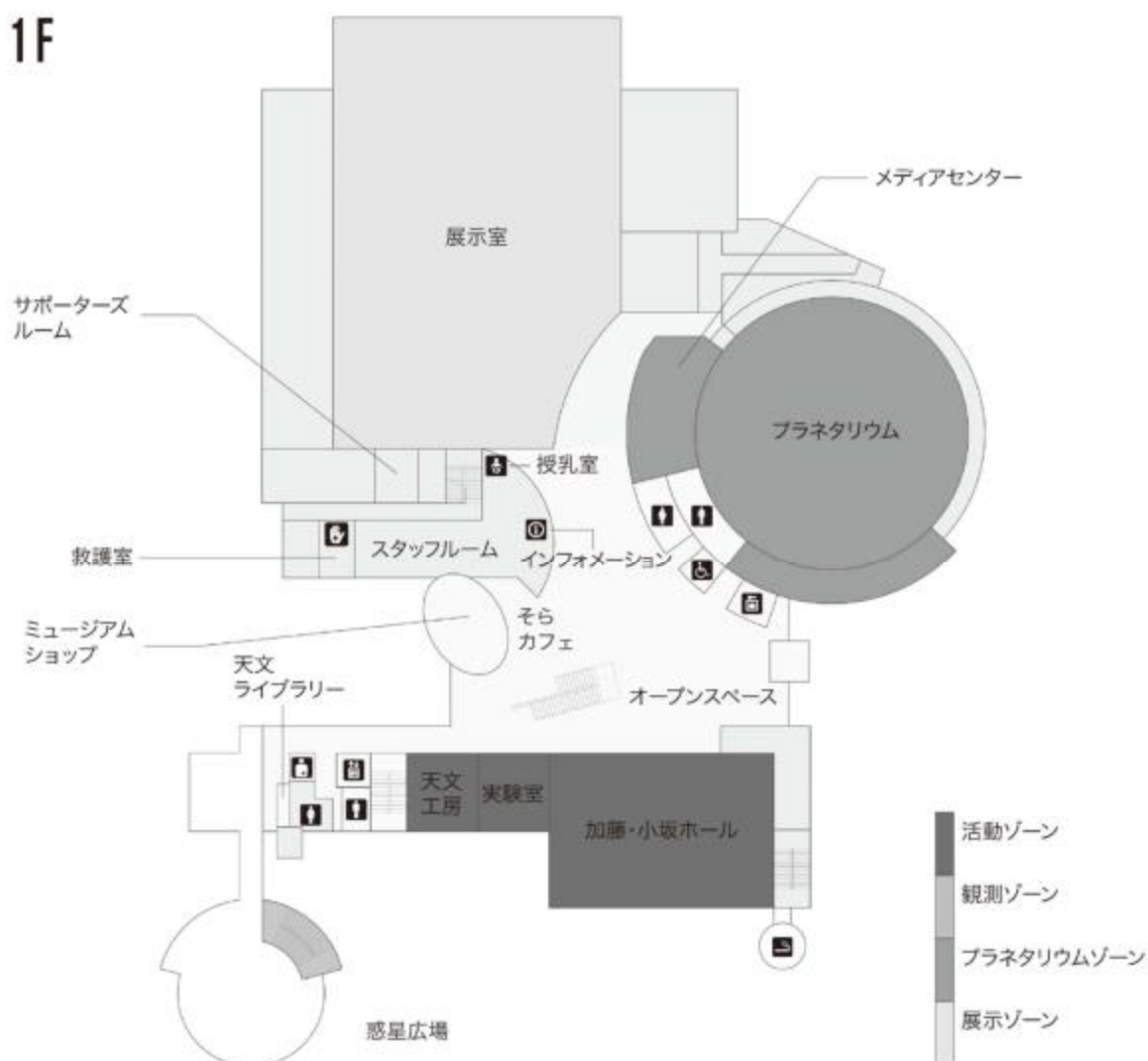
【2025 年度 管理運営費】

単位：千円

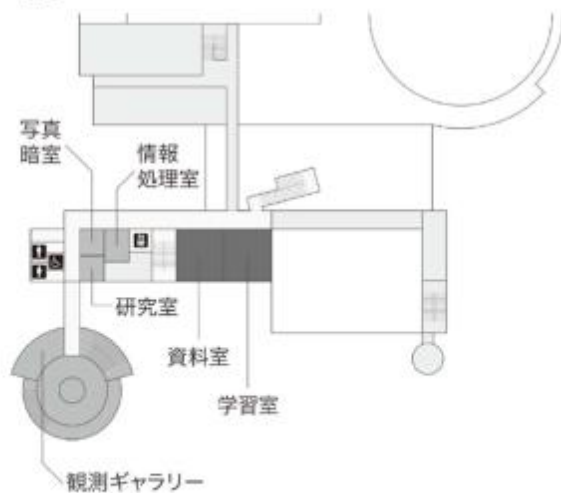
科 目		金 額	摘 要
運営業務費		124,844	基幹業務, 総務, 会計業務
光熱水費		35,085	電気・水道代
管理全般委託費	管理業務委託費	47,971	管理職人件費
	清掃業務委託費	9,883	人件費他
	警備業務委託費	10,083	人件費他
	駐車場管理運営業務委託費	2,860	人件費他
維持管理費・修繕費	建築物維持管理業務委託費	4,791	点検費, 人件費他
	建築設備維持管理業務委託費	12,354	点検費, 人件費他
	情報システム維持管理業務委託費	17,226	保守費, 人件費他
	各種望遠鏡維持管理業務委託費	18,079	点検費, 人件費他
	プラネタリウム維持管理・修繕委託費	14,222	点検, 修繕, 人件費他
	展示物維持管理・修繕委託費	12,746	点検, 修繕, 人件費他
	備品等管理業務委託費	2,724	人件費他
合 計		312,868	

7 施設の概要（平面図）

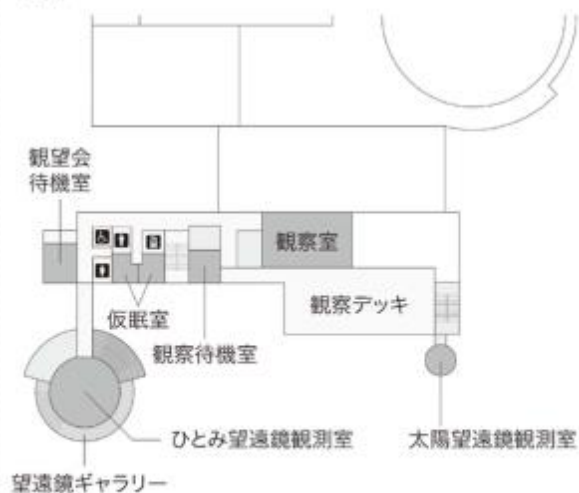
1F



2F



3F



Ⅱ 2025 年度事業報告

1 マネジメント業務

(1)ねらい

施設のミッション推進、組織力強化、人事人材管理を実施する。

(2)業務内容

①SPC 調整会議

仙台天文サービス構成企業間で、現場レベルでの調整が必要な事項について打合せを行った。

○月に 1 回開催

②ガバナンス会議の運用

台内の所属会社の違う部署間の調整を適宜行った。

○月に 1 回開催

③コアスタッフ会議の運用

運営担当企業内の運営方針管理及び情報共有・問題点の洗い出しを適宜行った。

○台内会議日及びコアスタッフが発議した際に開催

④台内会議の運用

スタッフ間で予定の確認及び活動の振返りを行い、維持管理・運営の質を担保した。

○月に 1 回開催

⑤全体会議の運用

運営担当企業のスタッフで、運営内容の確認や改善の方向性を確認した。

○月に 1 回開催（台内会議日）

⑥総務会議、企画・交流会議の運用

総務及び企画・交流の担当部署ごとに、運営内容の確認や改善の方向性の確認、及び研修等を行った。

○月に 1 回開催

⑦週末会議の運用

土曜日から翌週の金曜日までの予定について台内で共有した。

○毎週金曜日に開催

⑧朝礼の運用

当日の予定や確認事項についてスタッフ間で共有した。

○開館日の開館前に開催

⑨セルフモニタリング及びヒアリング

契約書に基づき、維持管理・運営業務に関わる要求水準の履行状況を確認するセルフモニタリングを行った。またその報告に対する仙台市のヒアリングに対応した。

○双方、月に 1 回の提出と対応

⑩中長期計画の策定

運営要求水準書に基づき、施設ミッション強化を目的に中期計画を策定した。同時に長期計画の修正も行った。

○3 年ごとに策定し、仙台市に提出

⑪年間事業計画の策定

指定管理者協定に基づき、年間計画を策定した。

○毎年策定。前年度 3 月中に仙台市に提出した。

⑫予算管理

見通しを持った維持管理・運営を行うために、年間予定、週間予定を策定した。

○年間予定は前年度の 1 月末までには大枠を決定

○週間予定は 1 ヶ月前までには大枠を決定

⑬予算管理

構成企業ごとに、適宜予算の管理を行った。

⑭個人情報の管理

個人情報取扱特記事項に基づき、適宜個人情報を管理した。

⑮スタッフ研修

スタッフのスキルアップを目的に内部研修を実施。また外部研修にも参加した。

○内部研修（情報セキュリティ研修、接遇研修、防犯研修、防火研修、救急救命研修等）

○外部研修（7 件の研修に参加）

⑯マニュアル作成（標準化）

標準化できる業務については、マニュアル（標準書）を作成し、業務の標準化を図った。

⑰勤怠管理

出勤予定表を作成し、スタッフの勤務計画を立て、それに基づいた管理を行った。

○前年度までに策定。変更については随時更新

⑱週計画の作成

勤怠及び交番を明確にするために、週ごとの予定表を作成する。

○前月までに策定

⑲アルバイト管理及びシフト管理

アルバイトのシフトを調整し管理した。また、勤怠の管理も行った。

○シフト調整及び勤怠管理とも月に 1 回行った。勤整に

については適宜行った。

⑳福利厚生（雇用・会社福利厚生関係）

スタッフの雇用や福利厚生の対応をした。

㉑オーナーサポーター運営・管理

天文台を資金・物資の面でサポートしてくださる企業及び個人を募り、その資金等を運用した。2025 年度にご支援いただいた資金は、プラネタリウム字幕システム（UD トーク）、館内自動販売機への点字シールの貼付、月のワッペンに充当した。また、物資ではチケットロール紙をご提供いただいた。2025 年度のオーナーサポーター企業名・個人名はオーナーサポーター一覧（p.33）参照。

㉒学会等関連団体への加盟と連携

学会や関係団体に加盟するとともに、研修及び情報発信を行った。

○加盟団体は次の通り

（日本天文学会、日本博物館協会、全国科学博物館協議

会、全国科学館連携協議会、天文教育普及研究会、日本公開天文台協会、日本プラネタリウム協議会、宮城県博物館等連絡協議会、仙台・宮城ミュージアムアライアンス）

㉓諸団体との連携協定の管理

大学、研究団体、社会教育施設、天文愛好家等と連携協定を結び、天文台の運営の一助とした。そのための協定の管理を行った。

㉔台長業務

施設運営、対外交渉、講演、SPC 構成企業内調整等を実施した。

㉕アンケートの計画、実施及び分析

来館者及び学校団体にアンケートを実施した。

㉖危機管理

施設の防災管理規定に従い適切に対応した。

2 活用促進業務

(1)ねらい

宇宙への興味・関心が薄い層に様々な切り口で天文台の魅力を発信し、施設の活用を促す。

(2)業務内容

①VI の運用・管理

VI をイベント等で活用した。また、各種メディア媒体の VI を管理した。

○キャッシュレス対応に伴い、新しいチケット及びカード型年間パスポートに天文台ロゴとして VI を活用した。

②天文台まつり

天文台の開台を記念し、毎年 2 月に市民参加型のおまつりを開催している。

○2025 年度は 2026 年 1 月 31 日、2 月 1 日に「天文台まつり 2026」を実施した。

③多様化するニーズへの対応

受付やプラネタリウムにおける多言語対応及び、自販機や展示物への点字貼付による視覚障害者対応を継続して実施した。

④サタ☆スタ

天体観望会とともに、土曜の夜ならではのイベントを実施し、賑わいを創出した。

⑤施設活用イベント

アーティストや市民と宇宙をテーマにしたイベントを実施した。

⑥記念事業

開台 70 周年記念事業及び東日本大震災追悼イベント等の記念事業を実施した。

○開台 70 周年記念事業

・4－7 月：70 周年記念企画展示「写真で振り返る仙台市天文台の歩み」

・4－7 月：星と音楽の時間 仙台市天文台 70 周年特別放映「昭和の名曲とふりかえる あのころの宇宙」

○東日本大震災追悼イベント及び震災特別番組「星よりも、遠くへ」の放映・配給

・震災特別番組「星空とともに」放映館数：5 館

・震災特別番組「星よりも、遠くへ」放映館数：50 館（内 6 件は DVD 版の上映を実施）。

⑦商品開発

仙台市天文台のオリジナルグッズやコラボ製品を開発するが、今年度の実施はなかった。

⑧売店業者との調整

○ミュージアムショップ

仙台市天文台オリジナルグッズや宇宙天文に関するグッズの販売を行った。2025 年度は、新規オリジナルグッズ（プラネくん缶バッジ全 6 種）を制作し、販売を開始した。

○そらカフェ

飲み物や軽食を中心に販売を行った。

- ②, ③, ⑤の詳細は, 独自事業イベント一覧
(p.34-) 参照。

3 観測研究業務

(1)ねらい

市民の観測技術の向上を図る活動を行い, 天文学に深く関わる人材を育成する。更には, 関係機関と連携し, その成果を公開することで天文学の発展に寄与する。

(2)業務内容

①天文台スタッフ観測

天文台スタッフが観測研究テーマに基づく観測研究活動を行った。

②市民観測員育成講習（観測提案講習, 教員研修等）

ひとみ望遠鏡の操作方法の習得も含め, 教員等指導者の養成・研修目的も兼ねた観測を行った。今年度は実際の観測を通して市民観測員として必要な技術のレクチャーを行った。

③公募共同観測

ひとみ望遠鏡を活用した観測提案を3ヶ月ごとに公募し, 書類審査により, 観測提案に基づく観測を行った。

④市民観測員観測

ひとみ望遠鏡の操作方法について天文台職員と同等の技術を習得し, 天文台の望遠鏡活用指針に基づいた観

測ができる市民を市民観測員として認定し, 観測提案書の書類審査により, 提案した観測テーマに関して, 単独で観測研究活動を行った。

⑤大学・関係機関との共同観測, 連携観測

大学・関係機関からの観測依頼に基づき, 共同観測及び連携観測を行った。

⑥ひとみ望遠鏡体験観測, 天文学者体験観測

天体観測に関心の高い市民が観測技術や天文学の知識の程度に応じて技術向上等を図れるよう, 研修を目的とした観測を実施した。

⑦インターネット望遠鏡体験会

例年, 仙台市内の小・中・高等学校の児童・生徒を対象にインターネット回線を経由したひとみ望遠鏡の操作体験の実施校を募集した。

⑧研究・実践紀要作成

2025 年度に行った研究や実践した内容について, 研究・実践紀要にて報告を行う。

全ての詳細は観測研究業務事業一覧 (p.35-) 参照。

4 教育支援業務

4-1 学校教育

(1)ねらい

様々な市民を対象として, それぞれに合った手法や内容で, 学校教育で学習する天文分野の内容の理解が深まるよう支援する。

(2)業務内容

①幼児天文台学習

幼稚園・保育所を対象にプラネタリウム投映, 展示室見学, ひとみ望遠鏡見学を行った。詳細は天文台学習利用実績 (p.33) 参照。

○幼児向け計画・渉外

幼稚園・保育所宛にプログラムの案内文書を作成し, 2 月に送付した。

○幼児向け投映

45 分間の生解説で, 季節の星座や惑星を紹介する内容とした。また, 5 歳児を対象とし, 星を結んで図形を作ったり, 宇宙旅行に行ったりすることで, 幼児の感性

や表現力を豊かにし, 協同性を高められるような構成とした。後半は「宇宙へ GO!」というテーマで, 惑星たちの形や色, 特徴などについて見るプログラムを実施した。

○幼児向け望遠鏡見学

ひとみ望遠鏡の大きさや動きを体感できるよう, 実際に操作しながら説明を行い, 15 分程度で見学できる内容とした。また, ひとみ望遠鏡で撮影した星の写真を見せ, 望遠鏡で星を見るとどのように見えるのか紹介した。

②小学校天文台学習

小学 4 年生と 6 年生を対象に, 学習指導要領に基づいた学習プログラムを用意し, 実施した。詳細は天文台学習利用実績 (p.33) 参照。

○小学校学習計画・渉外

小学校宛に案内文書を作成し, 3 月に送付した。

○小学校学習放映

4 年生向けプラネタリウム学習「月や星の見え方」(50 分)を実施した。6 年生向けには必修の「月の形と太陽」(30 分)に加え、選択学習として「今夜の星空」もしくは「宇宙開発」(各 20 分)を実施した。

○小学校望遠鏡見学

ひとみ望遠鏡観測室で、ひとみ望遠鏡の解説を通して天体望遠鏡の仕組みを学習するほか、条件が良ければ、日中の惑星や恒星の観察を行った。

③中学校天文台学習

仙台市内の中学校 1 年生を対象に、学習指導要領に基づいた天文台学習を実施した。地球視点（小学校の学習内容）から宇宙視点（中学校 3 年生の学習内容）へと視点を変える橋渡しとして、観察者（生徒）の視点を地上から宇宙へと移動させ、宇宙空間を立体的に認識し、天体の運動と見え方を関連させて捉えることができるようなプログラムとした。詳細は天文台学習利用実績 (p.33) 参照。

○中学校学習計画・渉外

中学校宛に案内文書を作成し、1 月に送付した。

○中学校学習放映

観察者の視点を地上から宇宙へと移動させながら日周運動と年周運動について取り上げた 50 分間の内容を実施した。

○中学校望遠鏡学習

プラネタリウム内にて、望遠鏡を使いプラネタリウムの天体を観察をしながら、天体望遠鏡の仕組みを学習する内容を実施した。

④その他の学校学習

○高等学校及び特別支援学校を対象とした天文台学習

高等学校や特別支援学校を対象に天文台学習を行った。学習放映の内容は、事前に打合せを行い、学校の要望に合ったものを実施した。高等学校の学習放映では、歳差運動やブラックホールに関する番組を放映した。

○外国語対応

インターナショナルスクールや海外の留学生を対象に、翻訳システムを使用し、プラネタリウムのドームや手元のタブレットに英語字幕を表示するなどして、他の学校と同じ学習内容を提供できるようにした。

⑤学習配布物作成

○小・中学生向け

天文台学習のしおりを作成した。天文台学習のしおりは、小学 4 年生用・小学 6 年生用・中学生用の 3 種類を作成した。また、月の観察に役立てられる「月の観察カレンダー」を作成した。

⑥学校団体受入

幼稚園・保育所・小学校・中学校・高等学校・特別支援学校等の学校団体の来館に際し、受入担当を配置し、安全かつ円滑に館内での移動やスケジュールが進められるように配慮した。また、学習内容や注意事項を説明する動画を作成して天文台ウェブサイトに掲載することで、各学校で注意事項を確認できるようにした。

⑦学校連携

教育支援活動の拡大と学校教育における理科教育の充実と発展のため、学校現場との連携事業の実施した。

○中学校への学習教材支援

仙台市立の中学校から依頼を受け、黄道上の星座について学習できる星座表を作成し、提供した。

⑧小中学校教員養成講習

市内小中学校教諭を対象とした研修会（8 月 4 日実施、仙台市教育センター主催）を行った。内容は、天文台学習プログラムの紹介と授業での活用方法の検討、屈折望遠鏡の使い方等の研修を実施した。

⑨教科研究会への参加

仙台市小学校教科研究会理科研究部会第 1 回定例会全体会並びに研修会へ参加した（6 月 25 日開催）。

4-2 生涯学習

(1)ねらい

○天体観察や天文学の普及啓発への関心が高い市民が、各々の興味や特技を活かした活動を提案・実践できるように支援する。

○仕事としての天文普及活動に興味・関心がある方を対象に、知識・技能等に応じた実践的な経験・訓練を積む機会を提供することで人材育成に寄与し、博物館の役割を果たす。

(2)業務内容

①スタッフサポーター養成講座

初心者を対象として天文台の活動をスタッフの一員として支援していただくスタッフサポーターを新規に養成する講座を開催した。活動に必要な知識や技術の基礎に関して、8 月から 3 月までの毎月第 3 土曜日に実施し、12 名の修了認定を行った。

②スタッフサポーター管理・運営

養成講座を修了し、スタッフの一員としてサポート活動を希望する市民 68 名が登録し移動天文台・ワークショップ等のサポート活動を行った。

③スタッフサポーターミーティング・学習会

毎月ミーティングを行い、各自の活動の計画を立てた。また、サポーター全体で 1 ヶ月間の活動記録の振り返りを行う機会を設け、サポーター同士の交流と意見交換を図った。更に、サポーターからの話題提供を奨励し、ミーティングの内容を充実させた。

④天文愛好家の活動支援

事前に申請のあった天文愛好団体へ学習室等を貸し出した。

⑤社会教育支援

市民が宇宙や天体などをより身近なものとして捉え、天文学に興味関心を抱く機会や、天文学の知識を更に深める機会を提供することにより、天文学の普及振興に寄与する目的で以下の受入れを行った。

○インターンシップ（随時）

実施期間：

・2024 年 9 月 21 日－2025 年 7 月 20 日

・7 月 31 日－8 月 3 日

・9 月 5 日－9 日

受入人数：計 3 名

○職場体験（随時）

実施期間：11 月 6 日、7 日

受入人数：計 3 名

○博物館実習

実施期間：8 月 18 日－24 日

受入人数：計 2 名

⑥各種市民団体との連携

連携協定内容に応じた事業を協働で実施した。

【連携団体と協働事業内容】

○仙台天文同好会

・5 月 3 日 太陽を見る会

・9 月 28 日 仙台サイエンス&アート

発表会（研究成果・天体写真の発表会）

・1 月 5 日－3 月 1 日 写真展

・2 月 1 日、2 日 太陽を見る会、天体観望会

○天文ボランティアうちゅうせん

当施設以外での開催希望の天体観望会の実施（2025 年度は実施なし）

5 天文普及業務

5-1 展示

(1)ねらい

様々な観測や天文に関する科学情報を分かりやすく編集・加工し表現する。また、宇宙に関する多様なテーマで市民と交流し天文への理解を深める。

(2)業務内容

①展示交流

天文台スタッフと来場者が天文を通じた交流の中で宇宙への理解を深めることができるよう、展示室公開時は展示室内に担当を配置し、定期的にコミュニケーション活動の機会を設けた。

②展示ツアー

スタッフが 1 つのテーマで展示室内の複数の展示物を解説する「展示ツアー」を開催した。特に、4 月 1 日－7 月 31 日の期間は「地動説を唱えた人々」というテーマで、2 月 2 日－3 月 3 日の期間は「月食の月の色はなぜ赤い?」というテーマで毎日 13:30 から開催した。参加者数は展示ツアー参加者数（p.37）参照。

③ワークショップ

天文台や宇宙との距離を身近に感じてもらうインタラクティブな普及活動として、ワークショップを開催し

た。詳細はワークショップ内容一覧（p.37）参照。

④展示情報端末の運用

取得した天文情報を来館者に分かりやすいように加工や解説を加えて、展示室内の情報端末にて公開した。

⑤企画展

企画展示コーナーにおいて、連携協定団体である東北大学理学研究科に協力いただき、最新の地球及び天文学研究に関する情報を展示した。また、国立天文台水沢観測所、JAXA 角田宇宙センターの研究の成果や観測情報を展示した。

そのほかに、期間を限定して常設展示以外のテーマ等を扱う下記の企画展示を行った。

○展示室

・70 周年記念企画展示「写真で振り返る仙台市天文台の歩み」（5 月 3 日－7 月 13 日）

・企画展示「極限時空・ブラックホールと重力波」（7 月 26 日－10 月 13 日）

・企画展示「土星の環のふしぎ」（10 月 24 日－12 月 28 日）

○プレショーギャラリー展示

市民や社会教育施設とのコラボ企画の実施や天文愛好家の活動紹介など、市民の天文への関心を高める場として展示を行った。詳細はプレショーギャラリー展示一覧（p.37ー）参照。

○その他

気象観測衛星ひまわり 8 号の高解像度可視画像をスクロール表示するコンテンツ「台風の動きを見よう」を体験できる映像展示をオープンスペースに設置した。

5-2 プラネタリウム

(1)ねらい

プラネタリウムの空間や機能を活用し、様々な世代の市民がそれぞれの興味・関心や天文学の知識レベルに応じて、わかりやすく宇宙・天文について学べる機会を提供する。

(2)業務内容

①星空の時間の企画・投映

「今夜の星空散歩」と題し、仙台で見られる今夜の星空の楽しみ方をスタッフが生解説で紹介した。基本的に投映内容はスタッフごとに異なるが、11月の16:00からの投映では、投映者に依らず「土星の環の消失」を取り上げた。番組内容の詳細は「星空の時間」番組一覧（p.39）、各投映者の投映内容は「星空の時間『今夜の星空散歩』」投映内容一覧（p.39ー）参照。

②こどもの時間の企画・投映

こどもと家族向けのプログラム「プラネくんとあそぼう!」を、星の世界に入り込み宇宙のふしぎを感じ取る体験を通し、星や宇宙に魅力を感じるこどもを増やすことを目的として投映した。詳細は「こどもの時間」番組一覧（p.40）参照。

③天文の時間の企画・投映

天文学のより深い世界へ足を踏み入れてもらうために、2025年度は「地動説ー惑星の運行から考える宇宙の姿ー」を企画・投映した。詳細は「天文の時間」番組一覧（p.40）参照。

④星と音楽の時間の企画・投映

日常にある音楽と星や宇宙とのつながりを示し、宇宙への興味を喚起することを目的とするプログラムを実施した。2025年度は邦楽を中心とした3番組を制作した。このうち「昭和の名曲とふりかえる あのころの宇

宙」は、仙台市天文台開台70周年を記念した番組である。また、SNS等で楽曲を募集する「リクエスト特集ー星空の下で聴きたい音楽ー」を企画・投映した。詳細は「星と音楽の時間」番組一覧（p.40ー）参照。

⑤その他の投映の企画・投映

上記のどの枠にも属さない宇宙・天文関連のプログラムを実施した。2025度は「アニメ『ゆるキャン△』シリーズ for プラネタリウム 星空キャンプにいこう!」、 「ECLIPSE 奇跡の天体ショー 日食と月食」を投映した。また、特別投映として「伝統的七夕」、「中秋の名月」を企画・投映した。詳細は「その他の投映」番組一覧（p.41）参照。

⑥ナイトプラネタリウムの企画・投映

土曜の夜の「サタ☆スタ」の時間内に、様々なジャンルの番組を特別料金体系で実施した。詳細は「ナイトプラネタリウム」番組一覧（p.42）参照。

⑦障害者のための企画・投映

聴覚障害者でも「星空の時間」の投映を楽しめるよう、音声認識・自動翻訳アプリによる生解説のリアルタイム文字起こしを提供できる環境を整備した。

⑧投映補助

投映中のお客様の安全を確保し、快適に過ごせるよう配慮した。

⑨案内・誘導

アナウンスや各モニター・ギャラリーの位置づけに合わせて適切な情報を適切なタイミングで周知し、投映前後の連絡事項を伝えるとともに、プラネタリウムへの期待・興味を高めた。

5-3 望遠鏡

(1)ねらい

○主としてひとみ望遠鏡を使用して、風習や見頃、世間の注目に応じた様々な天体・現象を観察できる機会を提供することで、市民の宇宙・天文に対する興味・関心を引き出すとともに、天文知識向上に寄与する。

○ひとみ望遠鏡の見学機会を設け、望遠鏡の構造や仕組み、能力、観測方法を説明し、天体観望への興味・関心を喚起させる。

○天体観測への興味・関心が高い市民を対象に市民観察室望遠鏡を貸与することで、天文学の普及振興に寄与する。

○観測機材の貸出しにより、天体観望会を開催する市民及び教員等を支援する。

(2)業務内容

①定期観望会

毎週土曜日はひとみ望遠鏡を使用した天体観望会を実施した。また、星が見える際には季節ごとに見頃の天体を観望した。詳細は定期観望会開催実績(p.43)参照。

②昼間の観望会

ひとみ望遠鏡を使用して昼間に観察可能な天体の観望会を東北文化の日及び天文台まつりに実施した。詳細は定期観望会以外の開催内容一覧(p.43)参照。

③その他の天体観望会

ひとみ望遠鏡や移動天文車ベガ号を必要としない天文現象について観望会を開催した。参加者数等、詳細は定期観望会以外の開催内容一覧(p.43)参照。

④ひとみ望遠鏡解説

ひとみ望遠鏡を動かしながら、特長や性能を紹介した。参加者数等、詳細はひとみ望遠鏡関連イベント一覧(p.43)参照。

⑤観測機材等の館外貸出し

天体観望会を開催する市民及び教員等のために、貸出日の日程調整と予約の受付を行い、観測機材の貸出しを行った。返却時には確認を行い、機器の点検を実施した。必要に応じて清掃、調整等も実施した。(貸出件数：3件／3台分)

定期的な点検も行い、不備があったものに関してはその後清掃、調整等も実施した。

⑥観察室の貸出・管理

観察室の使用資格をもつ利用者(ユーザー)を対象に、毎週土曜日に加えて毎月2回、観察室の貸出日を設定し、貸出しを行った。加えて、学校の夏季休業期間中には、小・中・高校生優先の利用日を設定し、ユーザーへの貸出しと合わせて年間85日の貸出日を設定した。なお、毎月2回の貸出日は新月前後に設定することで、画像取得を目的とする利用者にも配慮した。

管理としては以下の2つの項目を実施した。詳細は望遠鏡関連講座・講習会・ミーティング一覧(p.44)参照。

○ライセンス講習会

望遠鏡利用のための資格取得講習会(ライセンス講習会)を実施した。今年度の付与を含め、ライセンスA所持者は24名、ライセンスB所持者は13名の合計37名がライセンスを所有している(2026年3月末現在)。

○ユーザーズミーティング

望遠鏡操作に関する注意事項の確認と望遠鏡利用者同士の情報交換の場、及びライセンス更新の機会として、望遠鏡利用者連絡会(ユーザーズミーティング)を開催した。

⑦初心者のための望遠鏡講座

天体望遠鏡の使用を望む市民に対して、望遠鏡の仕組みや操作を学ぶことができる講習会を実施した。今年度は「はじめての望遠鏡教室」として、「手作り望遠鏡編」、「天体望遠鏡教室」として「初心者編」、「上級者編」と天体望遠鏡への興味関心の度合いに合わせた講座を行った。詳細は望遠鏡関連講座・講習会・ミーティング一覧(p.44)参照。

5-4 アウトリーチ活動

(1)ねらい

施設内に留まらず、施設外の多くの市民の日常に天文体験の機会を提供する。

(2)業務内容

①講師派遣

職員に対して、市内外を問わず関係機関や他の団体から講演会等の講師の依頼がある際には、他の業務に支障がない範囲で応じた。また、市内及び市近郊の小中学校等からの依頼があった場合も同様に対応した。詳細は講師派遣先一覧(p.45)参照。

②定期移動観望会

移動天文車ベガ号を仙台市内各所及び近郊に派遣し、ベガ号積載の20cmクーデ式望遠鏡及び小型望遠鏡で

天体観望会を実施した。天体を観測できないときには、星空の話や天文クイズ、ワークショップ等の天文教室を開催した。詳細は定期移動観望会開催記録(p.44)、定期移動観望会出動先一覧(p.44ー)参照。

③臨時移動観望会

定期移動観望会では出動できないイベント等から観望会の依頼がある際に、移動天文車ベガ号を用いて観望会を実施するが、本年度は該当する観望会は無かった。

④依頼観望会の他団体へのオファー

移動天文車による観望会を開催できない場合には、依頼先の了解を得た上で他団体への紹介を行っている。本年度は該当する観望会は無かった。

5-5 大学・関連機関連携

(1)ねらい

○天文や様々な専門分野と連携することにより、市民の星や宇宙への興味関心を高める。

○最新の天文学の情報を分かりやすく提供することにより、市民の天文知識の理解を深める。

(2)業務内容

①大学・研究機関との連携

地域の大学や研究機関等と連携し、天文やその他の様々な専門分野の切り口からの話題提供により、市民の星や宇宙への興味関心を高めるとともに、最新の天文学の情報を分かりやすく提供した。

○宮城教育大学

宮城教育大学理科教育講座担当教員と仙台市天文台スタッフが共同で企画・実施する「宇宙」「天文」をキーワードとした体験型科学実験教室「スペースラボ in 仙台市天文台」を開催した（計4回）。詳細は大学・研究機関との連携活動一覧（p.46）参照。

②社会教育施設との連携

地域の社会教育施設と連携し、様々な切り口から星や宇宙への興味関心を高める機会を提供した。

○仙台市野草園

仙台市野草園と連携して、互いの施設にてギャラリー展示やワークショップ、天体観望会（星空を楽しむ会）

を企画・実施した。

③ブレインサポーター運営・管理

天文台の運営等についてアドバイスをいただける方を年度ごとに委嘱し、活動をしていただいている。2025年度は12名の方に委嘱し、適宜打合せをしながら活動していただいた。詳細はブレインサポーター一覧（p.45）参照。

④トワイライトサロン

名誉台長が土曜の夜だけに開くサロン。オープンスペースを会場に、飲食自由の気軽な雰囲気の中で名誉台長や企画・交流系のスタッフが宇宙をテーマに話した（計52回）。詳細はトワイライトサロン内容一覧（p.47）参照。

⑤講座・講演会

大学や研究機関等と連携し、天文やその他の様々な専門分野の切り口から、講座・講演会を開催した（計3回）。詳細は講座・講演会一覧（p.48）参照。

⑥全国連携イベント

全国の社会教育施設と連携し、宇宙関連イベントを実施することにより市民が宇宙に興味を持つ機会を増やすことを目的に、科学技術週間（4月14日～20日）関連イベント「一家に一枚ポスターの配布」に協力した。

5-6 天文情報提供

(1)ねらい

○時宜をとらえた天文事象の資料や情報を提供する。

○最新の天文学の情報を分かりやすく提供する。

○市民の天文に関する相談に応じ、適切なアドバイスを行う。

(2)業務内容

①天文相談

市民からの天文や宇宙に関する質問や相談に対して、台内だけではなく電話やウェブサイト、郵送、FAXなどでも対応し相談者の立場に立った回答を行った。

天文相談の件数については天文相談件数（p.50）を参照。

②天文情報の掲示

以下の要領で天文情報を掲示した。

○ひとみ望遠鏡ギャラリー展示

ひとみ望遠鏡について紹介するパネルや撮影された

画像を公開した。

○観望待機室ギャラリー展示

観望会中に待機しているお客様に対する情報提供として、待機中に閲覧いただく天文雑誌などの環境を整えた。

○観測ギャラリー展示

ひとみ望遠鏡での観測の成果の公開として、学会等での発表に使用したポスターを掲示した。

③天文情報の発信

仙台近郊で見られる天文現象を、各種媒体を通して発信した。なお、主な発信媒体はウェブサイトとXである。更に現象によってそれ以外の媒体でも発信した。紹介した現象の詳細は発信した天文情報一覧（p.50）参照。

また、天文台で撮影した天文現象は「おすすめの天文現象の記録」ページにて、最大・最小の満月のレポートを公開した。詳細は撮影・収集した天体・現象一覧（p.49）

ー) 参照。

④望遠鏡販売

市民の天文に関する相談に応じ、適切なアドバイスを

行うことで、市民の望遠鏡購入の相談や要望に応えた。

6 資料収集業務

(1)ねらい

○博物館として、世間から注目された天体や天文学的に貴重な現象を記録する。

○博物館として、記録した天体や現象を発信・説明する。

(2)業務内容

①資料収集

年間計画を作成し、天文現象、惑星、星野などの資料収集を行った。

○天文現象

今年度見られた主な天体現象の様子を記録した。詳細は撮影・収集した天体・現象一覧(p.49ー)参照。

○太陽

太陽が活動的になり、大きな黒点やプロミネンスが出現した場合に記録を行った。

②観測データ整理保管・天体画像整理保管

観測研究業務において取得したデータを観測日ごとに整理し、観測ログとともに保管している。保管に当たっては、バックアップ機能が動作しているサーバーにも保管することで、データの紛失・破損があっても早急に復旧できるよう、対策を講じた。

③文化財整理保管

現存する文化財を損失、劣化させないように状態管理を行った。

④図書メディア管理

業務を円滑に行うため、天文台で購入した図書・メディア資料の整理を行った。また、来館者が学習等に使える資料については、自由に読むことができるよう、ライブラリーやキッズルームへ設置した。

7 メディア制作業務

(1)ねらい

本施設のビジュアル・アイデンティティに基づき、各業務で発生する制作物を円滑に制作する。

(2)業務内容

①館内ディスプレイ

季節やイベントに応じたディスプレイで台内に賑わいを創出した。

②広報、配布物制作

天文台内・外で開催する天文台主催事業や、投映するプラネタリウム番組については、市民等への周知を目的に、必要に応じてポスター・ちらしを制作した。

③展示物制作

展示室や各種ギャラリー、企画展等の展示物の制作を

行った。

④ウェブサイト・SNS 素材制作

イベントや天文現象に応じて、ウェブサイトに掲載するバナーや画像を適宜制作した。

⑤プラネタリウムコンテンツ制作

プラネタリウムのプログラム制作、作画、動画制作、音響制作、番組据付を行った。

⑥VI 制作

VI に基づく制作を行った(随時)。

⑦館内表示制作

館内表示の制作を行った(随時)。

⑧グッズ制作

天文台オリジナルグッズの制作を行った(随時)。

8 広報業務

(1)ねらい

本施設の業務内容や利用方法を広報・周知することにより、本施設の利用促進及びアイデンティティの浸透を図る。

(2)業務内容

①イベント情報提供

○施設アイデンティティに則した季刊誌「ソラリスト」

に情報を掲載し、館内及び市内外に配布した。

○ウェブサイトや市の広報誌に情報を掲載するとともに、地元の情報誌等にも情報を提供し、掲載されるよう働きかけた。

○注目度の高い天文現象やイベントについては、積極的にプレスリリースを行うほか、地元テレビ番組やラジオ

等に出演し、告知を行った。

②広報物管理（ソラリスト・リーフレット）

作成した広報物の配布部数・在庫を管理するとともに、より効果的な場所へ配布できるよう、事業ごとに配布箇所・配布部数を検討した。

③ウェブサイト・SNS 運用

○最新の天文情報や注目度の高い天文現象のほか、施設情報等は更新が容易なブログシステムを活用して、タイムリーな情報提供を行った。

○SNS 運用については、積極的に写真や動画投稿を行うことで利用者の目を引くよう工夫した。詳細はウェブサイトアクセス数一覧（p.51）、SNS フォロワー数一覧（p.51）参照。

④SMMA 対応

○他の社会教育施設と連携し、市民の生涯学習を支援するため、仙台市内の文化施設が所属している仙台・宮城ミュージアムアライアンス（SMMA）に継続して登録し

た。

○事務局が制作する広報物や専用ウェブサイトへの情報提供を随時行った。

⑤取材対応

各種広報物の配布やウェブサイトを活用したイベント告知、プレスリリース等を行い、取材に来ていただけるようメディアへ働きかけた。取材依頼が来たものについては、可能な範囲で対応し、天文台の活動の告知に努めた。詳細は取材件数一覧（p.51）参照。

⑥視察対応

他施設からの視察の受入れを随時行った。2025 年度の受入れ件数は 4 件。

⑦記録

広報活動及び天文台利用促進事業で活用するため、各種イベントの様子を写真や動画で撮影した。撮影したデータは事業ごとに分類し、取材時や資料提供依頼時にすぐ提供できるよう整理・保管した。新聞や雑誌などの記事をまとめたスクラップファイルを作成した。

9 窓口業務

(1)ねらい

来館者の施設利用が円滑に行われるよう、各種案内や対応を行う。

(2)業務内容

①総合案内

施設の基本情報やスケジュール、イベント等を来館者へ分かりやすく案内した。

②放送案内

プラネタリウムの入場開始やイベント開催等を告知する放送案内を実施した。

③団体利用受付

団体での利用希望者を対象に、予約を受け付けた。

④一般団体受入れ

団体利用者の円滑な案内を目的に、受入れ業務を行った。

⑤入場管理

観覧料の徴収、チケットの発券、チケットの確認を適切に行った。

⑥拾得物・迷子の対応

拾得物及び迷子の対応を行った。

⑦急病人対応

急病人が発生した場合の一次対応を行った。

10 管理業務

(1)ねらい

運営業務及び管理業務を円滑に行うために、各種事務及び経理を的確に行う。

(2)業務内容

①入館者・参加者集計

入館者数及び各種事業の参加者数を正確に把握し、各種文書・報告書に反映させた。また、統計的な処理も行った。

②観覧料・使用料徴収及び納付(金券、減免を含む)

正確に徴収し、速やかに納入した。

③ファンサポーター運営・管理

天文台のにぎわい創出を支援するお客様を募り、その管理と運用を行った。年間パスポート加入者を中心に随時募り、フリーペーパー「ソラリスト」の事前配布等の特典を運用した。

④年間パスポート運営・管理

年間パスポートの発行及び料金の徴収、個人情報の管

理を行った。

⑤業務日誌作成

後日の参考になるよう業務日誌を作成した。お客様からのご意見等も記録した。

⑥備品管理（備品台帳）

年 1 回、棚卸を実施した。

⑦物品管理

常に在庫を確認し、適宜補充した。

⑧文書発送・収受・管理

文書の発送・収受の履歴を残し、収受文書・資料の整理を行った。

⑨自販機管理、調整

売上確認、納品業者との連絡（品切れ・故障）を行った。

⑩売店収支報告書作成

年度末に仙台市に滞りなく報告した。

⑪得意先対応

得意先（団体・個人）に、カレンダーを送付した。また、寄付等の申し出に対応した。

○カレンダー送付は年に 1 回。寄付への対応は適宜行った。

⑫諸室管理

予約が必要な学習室、会議室、加藤・小坂ホールの利用調整、及び実験室の利用調整を行った。

○救護室の衛生消耗品の補充を行った。

○スタッフルーム・印刷室・資料室の整理整頓を行った。

⑬キャッシュレス化の対応

3 月 12 日からキャッシュレスシステム及び、web 予約システムの運用を開始した。

11 利用状況

単位：人

				4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	2025年度計
展示室	有料	個人	一般	2,566	4,117	2,970	4,166	8,506	3,753	3,368	2,906	2,557	2,130	2,656	3,939	43,634
			高校生	126	120	66	159	341	81	65	56	100	77	101	273	1,565
			小中学生	300	264	161	389	1,433	256	138	22	180	112	128	304	3,687
		団体	一般	5	131	112	79	69	120	93	11	17	15	19	7	678
			高校生	0	0	0	0	46	0	186	0	0	0	0	1	233
			小中学生	0	1	29	2	26	572	66	125	0	22	0	0	843
	無料	個人	一般	761	743	597	1,211	1,852	840	712	1,369	591	1,984	1,745	749	13,154
			高校生	5	3	8	3	2	4	2	21	2	47	42	3	142
			小中学生	734	862	460	1,250	2,382	571	690	824	377	879	812	678	10,519
		団体	未就学	366	491	543	794	1,572	549	474	524	385	666	722	591	7,677
			一般	70	46	354	530	325	202	105	146	63	59	46	97	2,043
			高校生	14	15	6	25	42	0	4	5	21	44	6	29	211
プラネタリウム	有料	個人	一般	2,647	4,199	3,085	4,421	8,817	3,986	3,475	3,010	2,746	2,383	2,837	3,923	45,529
			高校生	133	128	69	161	335	85	72	74	102	89	110	280	1,638
			小中学生	253	212	121	336	1,353	217	120	18	169	93	104	265	3,261
		団体	一般	4	131	127	45	130	121	92	9	17	13	17	5	711
			高校生	0	0	0	0	6	0	55	0	0	0	0	1	62
			小中学生	0	1	29	2	29	652	66	125	0	22	0	0	926
	無料	個人	一般	869	805	625	1,340	2,016	885	738	1,355	659	651	685	780	11,408
			高校生	5	3	10	4	3	6	3	21	4	2	3	3	67
			小中学生	736	885	472	1,247	2,551	611	714	794	378	493	466	702	10,049
		団体	未就学	321	387	454	730	1,509	462	407	466	277	435	377	476	6,301
			一般	63	49	383	455	305	197	101	76	64	59	46	90	1,888
			高校生	13	15	6	23	39	0	4	5	14	44	6	19	188
観望会	有料	個人	一般・高校生	59	9	78	89	277	136	12	221	93	116	112	135	1,337
			中学生以下	4	1	4	4	34	3	0	0	3	6	3	11	73
			一般・高校生	19	0	23	24	33	21	3	254	23	647	276	14	1,337
		団体	中学生以下	13	0	10	26	77	34	0	144	36	281	157	21	799
			未就学	0	232	2,394	1,127	33	0	131	32	97	66	69	90	4,271
			一般・高校生	59	9	78	89	277	136	12	221	93	116	112	135	1,337
	無料	個人	中学生以下	4	1	4	4	34	3	0	0	3	6	3	11	73
			一般・高校生	19	0	23	24	33	21	3	254	23	647	276	14	1,337
			中学生以下	13	0	10	26	77	34	0	144	36	281	157	21	799
		イベント	一般・高校生	59	9	78	89	277	136	12	221	93	116	112	135	1,337
			中学生以下	4	1	4	4	34	3	0	0	3	6	3	11	73
			一般・高校生	19	0	23	24	33	21	3	254	23	647	276	14	1,337
観察室望遠鏡利用				3	0	2	3	6	4	1	13	6	6	8	10	62
天文台学習（市内小中学校）				0	1,760	1,022	1,240	1,394	14,144	7,010	3,740	3,118	3,118	1,918	0	38,464
合計(延べ)				10,473	15,926	16,501	22,106	37,083	29,821	20,749	17,718	13,489	16,375	15,304	14,335	229,880

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	2025年度計
開館日数	25	26	25	27	30	25	26	25	24	24	23	27	307
1日平均入場者数	419	613	660	819	1,236	1,193	798	709	562	682	665	531	749

展示室入場者数	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	2025年度計
有料	2,997	4,633	3,338	4,795	10,421	4,782	3,916	3,120	2,854	2,356	2,904	4,524	50,640
無料	2,068	3,261	4,570	5,671	7,339	9,757	6,359	5,071	3,567	5,354	4,473	2,304	59,794
計	5,065	7,894	7,908	10,466	17,760	14,539	10,275	8,191	6,421	7,710	7,377	6,828	110,434

プラネタリウム入場者数	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	2025年度計
有料	3,037	4,671	3,431	4,965	10,670	5,061	3,880	3,236	3,034	2,600	3,068	4,474	52,127
無料	2,114	3,256	4,895	5,878	7,560	9,752	6,339	4,781	3,524	3,359	2,683	2,228	56,369
計	5,151	7,927	8,326	10,843	18,230	14,813	10,219	8,017	6,558	5,959	5,751	6,702	108,496

天体観望会参加者数	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	2025年度計
回数	4	5	4	4	5	4	4	6	4	5	5	4	54
有料	63	10	82	93	311	139	12	221	96	122	115	146	1,410
無料	32	0	33	50	110	55	3	398	59	928	433	35	2,136
計	95	10	115	143	421	194	15	619	155	1,050	548	181	3,546

定期移動観望会参加者数	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	2025年度計
出勤回数	1	5	2	6	8	7	8	6	5	3	4	2	57
無料	96	191	54	635	481	201	371	283	125	124	124	54	2,739

年度別	2008年度※	2009年度	2010年度	2011年度	2012年度	2013年度	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度
入館者数（延べ）	428,284	336,701	277,665	260,126	286,333	271,045	280,876	330,279	292,207	240,849	301,668	288,496
開館日数	230	308	309	289	309	308	307	309	307	280	306	308
年度別	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度	累計	※2008年7月1日リニューアルオープン ・2025年4月25日- 移動天文車「ベガ号」新車両にて稼働開始。				
入館者数（延べ）	101,154	177,619	199,273	256,797	238,317	229,880	4,797,569					
開館日数	268	258	307	307	307	307	5,324					

12 来館者アンケート結果

(1)調査概要

①調査期間

2025 年 4 月 1 日ー2026 年 3 月 31 日 ※施設の休館日は除く

②調査場所

仙台市天文台内

③調査方法

施設内にアンケート用二次元コードを掲出。来館者はスマートフォン等にて二次元コードを読み込み、インターネット上で回答を入力

④回答数

1088 件

⑤評価方法

NPS（ネット・プロモーター・スコア）による評価を実施。集計分析は株式会社エモーションテックの CX マネジメントサービス「EmotionTech CX」を利用

(2)調査結果

①基本集計

ONPS の数値

「あなたは仙台市天文台の利用を親しい友人や知人にどの程度おすすめしたいと思いますか（推奨度を 0ー10 の 11 段階で回答）」という質問で施設体験全体を通しての推奨度を回答していただいた。そして、推奨者の割合（推奨度 9ー10）から批判者の割合（推奨度 6 以下）を引いた値が NPS である。NPS は来館者ロイヤルティ（愛着、信頼の度合い）を数値化する指標であり、NPS の高さは施設のファンの割合が高いことを示す。

Q. あなたは、「仙台市天文台」の利用を親しい友人や知人にどの程度おすすめしたいと思いますか？ (0：全くすすめないー10：強くすすめる)			回答数【1088】
	回答数（件）	割合（％）	
推奨者（9ー10）	595	54.7	
中立者（7ー8）	349	32.1	
批判者（0ー6）	144	13.2	
NPS：54.7-13.2=41.5			平均 8.5

今年度の NPS は 41.5 となり、昨年度のスコア 47.4 を下回った。

○スコアへの影響

推奨度 0ー10 をつける上で、「以下の表の 12 種類の体験はどのように影響しましたか」の質問で、その影響の度合いを「非常にマイナスに影響した」から「非常にプラスに影響した」までの 7 段階で回答していただいた。

Q.								
「おすすめ度：0－10」の点数をつける上で、以下の項目はどのように影響しましたか？								
回答数【1088】								
	影響した 非常にプラスに	た プラスに影響し	響した ややプラスに影	影響しなかった	影響した ややマイナスに	した マイナスに影響	非常にマイナス に影響した	体験していない
施設の情報を収集する時	237	313	173	317	10	2	1	35
施設までの交通アクセス	108	139	131	510	143	39	8	10
施設の設備や快適性	391	333	156	190	14	2	1	1
チケットを購入する時	251	255	140	385	39	4	1	13
プラネタリウム	704	210	54	103	6	3	6	2
展示室	407	292	120	157	6	3	1	102
ひとみ望遠鏡	257	147	90	227	2	3	1	361
待合スペースの印象	231	237	214	272	7	6	1	120
講座やワークショップ	160	92	108	276	4	0	1	447
コンサート等のイベント	116	57	43	299	1	1	2	569
ミュージアムショップの印象	175	163	189	307	13	5	2	234
ミュージアムカフェの印象	130	131	140	300	21	8	1	357

どの体験も概ねプラスに影響しているが、「施設までの交通アクセス」については、マイナスに影響したと回答した来館者が明らかに多くなった。

その他の基本集計は以下のとおりである。

Q. 居住地		
回答数【1088】		
	回答数(件)	割合 (%)
青葉区錦ヶ丘	21	1.9
仙台市内	494	45.4
宮城県内	203	18.7
宮城県外	370	34.0

Q. 性別		
回答数【1088】		
	回答数(件)	割合 (%)
男性	467	42.9
女性	591	54.3
その他	30	2.8

Q. 居住する都道府県		
回答数【370】		
	回答数(件)	割合 (%)
山形県	88	23.8
岩手県	40	10.8
東京都	35	9.5
福島県	34	9.2
秋田県	26	7.0
千葉県	24	6.5
神奈川県	21	5.7
埼玉県	17	4.6
青森県	15	4.1
その他	70	18.8

Q. 年代		
回答数【1088】		
	回答数(件)	割合 (%)
小学生	63	5.8
中学生	54	5.0
高校生	63	5.8
大学・専門学校生	120	11.0
上記以外の 18歳～29歳	216	19.9
30歳～39歳	151	13.9
40歳～49歳	185	17.0
50歳～59歳	142	13.1
60歳～69歳	74	6.8
70歳以上	20	1.8

Q. 同行者		
回答数【1088】		
	回答数(件)	割合 (%)
一人	149	13.7
友人・知人	164	15.1
恋人	149	13.7
夫婦	111	10.2
家族や親せき (小学生以下の子 どもを含む)	289	26.6
家族や親せき (小学生以下の子 どもを含まない)	201	18.5
グループ(団体)	23	2.1
その他	2	0.2

Q. 来館頻度		
回答数【1088】		
	回答数(件)	割合 (%)
今回がはじめて	442	40.6
数年に1回	257	23.6
年に1回	117	10.8
年に数回	185	17.0
月に1回	44	4.0
月に数回	37	3.4
週に1回以上	6	0.6

Q. 来館動機		
回答数【1001】		
	回答数(件)	割合 (%)
天文台 SNS	77	7.7
天文台ウェブサイト	225	22.5
天文台以外の SNS やウェブサイト	68	6.8
テレビ	14	1.4
ラジオ	8	0.8
新聞・情報誌	16	1.6
ソラリスト	13	1.3
天文台リーフレット	122	2.2
市政だより	30	3.0
口コミ・紹介	39	3.9
家族や友人に誘わ れて	310	31.0
特になし	187	18.7
その他	133	13.3

Q. 望遠鏡のプログラム		
回答数【781】		
	回答数(件)	割合 (%)
望遠鏡案内	261	24.0
天体観望会	53	4.9
参加していない	781	71.8

Q. 展示室のプログラム		
回答数【1088】		
	回答数(件)	割合(%)
常設展示の観覧	746	68.6
企画展示の観覧	211	19.4
スタッフとの会話	137	12.6
ツアーへの参加	102	9.4
ワークショップへの参加	27	2.5
体験していない	279	25.6

Q. プラネタリウムのプログラム		
回答数【1088】		
	回答数(件)	割合(%)
星空の時間	686	63.1
ゆるキャン△	102	9.4
天文の時間	99	9.1
こどもの時間	81	7.4
ECLIPSE	74	6.8
星と音楽の時間	68	6.3
震災特別番組	21	1.9
ナイトプラネタリウム	36	0.7
3-2-1 LIFT OFF!	4	0.4
観覧していない	23	2.9

②属性別集計

アンケートの選択肢ごとに NPS を算出した。この数値を施設全体の NPS（41.5%）と比較し傾向を読み取る。

なお、△が付された数値は具体回答数が少ないため参考値とし、下記の分析コメントからは除外している。

○居住地		NPS	全体との差
「仙台市内」の NPS が全体平均を下回っている一方で、「仙台市外」（宮城県内・県外）は NPS が高い傾向が見られる。	青葉区錦ヶ丘	△61.9	20.4
	仙台市内	38.5	-3.0
	宮城県内	42.9	1.4
	宮城県外	43.5	2.0

○性別		NPS	全体との差
「男性」「女性」とともに NPS は全体平均とほぼ同水準であり、性別による大きな差は見られない。	男性	42.4	0.9
	女性	42.8	1.3
	その他	△0	-41.5

○来館頻度		NPS	全体との差
来館頻度が高いほど NPS が高まる傾向が見られ、「月に数回」などの高頻度来館者は全体平均を大きく上回っている。一方で、「数年に 1 回」や「年に 1 回」といった低頻度来館者は全体平均を下回っており、来館頻度によって評価に差が見られる。	今回がはじめて	42.8	1.3
	数年に 1 回	34.6	-6.9
	年に 1 回	37.6	-3.9
	年に数回	43.2	1.7
	月に 1 回	45.5	4.0
	月に数回	67.6	26.1
	週に 1 回以上	△66.7	25.2

○年代		NPS	全体との差
若年層ほど NPS が高い傾向が見られ、「大学・専門学校生」や「高校生」は全体平均を大きく上回っている。一方で、「小学生」及び「40 歳－49 歳」はいずれも全体平均を下回っており、いわゆる親子世代において相対的に評価が低い傾向が見られる。	小学生	25.4	-16.1
	中学生	42.6	1.1
	高校生	47.6	6.1
	大学・専門学校生	55.8	14.3
	上記以外の 18 歳－29 歳	45.8	4.3
	30 歳－39 歳	45.0	3.5
	40 歳－49 歳	30.3	-11.2
	50 歳－59 歳	40.1	-1.4
	60 歳－69 歳	39.2	-2.3
	70 歳以上	△30.0	-11.5

○同行者		NPS	全体との差
「恋人」や「家族や親せき（小学生以下の子どもを含む）」の NPS は全体平均を大きく上回っており、比較的高い評価となっている。一方で、「家族や親せき（小学生以下の子どもを含む）」や「夫婦」の NPS は全体平均を下回っており、特に子ども連れの来館者で評価が低い傾向が見られる。	一人	43.6	2.1
	友人・知人	40.2	-1.3
	恋人	51.7	10.2
	夫婦	36.9	-4.6
	家族や親せき （小学生以下の子どもを含む）	34.9	-6.6
	家族や親せき （小学生以下の子どもを含まない）	51.2	9.7
	グループ（団体）	△-8.7	-50.2
	その他	△0	-41.5

○展示室のプログラム		NPS	全体との差
「企画展示の観覧」や「スタッフとの会話」の NPS は全体平均を上回っており、比較的高い評価となっている。また、「常設展示の観覧」や「ツアーへの参加」の NPS は全体平均と同水準で推移している。以上から全体として、展示室のプログラムは概ね良好な評価を得ているといえる。	常設展示の観覧	43.3	1.8
	企画展示の観覧	48.8	7.3
	スタッフとの会話	48.9	7.4
	ツアーへの参加	43.1	1.6
	ワークショップへの参加	△40.7	-0.8
	体験していない	40.9	-0.6

○望遠鏡のプログラム		NPS	全体との差
「天体観望会」と「望遠鏡案内」の NPS は全体平均を上回り高評価である。一方で、「参加していない」層の NPS は全体平均を下回り、体験の有無によって差が見られる。	望遠鏡案内	47.5	6.0
	天体観望会	56.6	15.1
	参加していない	38.5	-3.0

○プラネタリウムのプログラム 「天文の時間」「ECLIPSE」「星空の時間」の NPS はいずれも全体平均を上回っており、比較的高い評価を得ている。一方で、「こどもの時間」や「ゆるキャン△」、「星と音楽の時間」の NPS は全体平均を下回っており、プログラムの内容や対象によって評価に差が見られる。 特に今年度の傾向として、天文学的要素の強いプログラムは評価が高く、娯楽性の高いプログラムは相対的に評価が低い傾向がうかがえる。		NPS	全体との差
	星空の時間	45.9	4.4
	ゆるキャン△	35.3	-6.2
	天文の時間	48.5	7.0
	こどもの時間	32.1	-9.4
	ECLIPSE	47.3	5.8
	星と音楽の時間	38.2	-3.3
	震災特別番組	△61.9	20.4
	ナイトプラネタリウム「小学校理科」	△71.4	29.9
	ナイトプラネタリウム「スマホで星空撮影」	△50.0	8.5
	3-2-1 LIFT OFF!	△75.0	33.5
	観覧していない	△-13.0	-54.5

③ジャーニーマップ

○マップの見方

推奨度に与える影響の大きさと現在の状態を可視化したマップである。

上の波形が推奨度への影響の大きさを表しており、この値が大きい程、推奨度に与える影響が大きい体験と言える。値が0の体験は推奨度に対して特に影響はない。この波形は来館者の「重視している度合い・期待の大きさ」を表していると考えて良い。下の波形は、この値が0より高ければ推奨度を押し上げている体験である。対して、0より低いと推奨度を引き下げている。この波形は来館者からの「実際の評価」を表していると考えてよい。そして、これら2つの波形のギャップの大きさが不満を改善した際の改善効果の大きさを表す。

○2025 年度全集計

全回答者のデータを基に作成したのが以下のマップである。

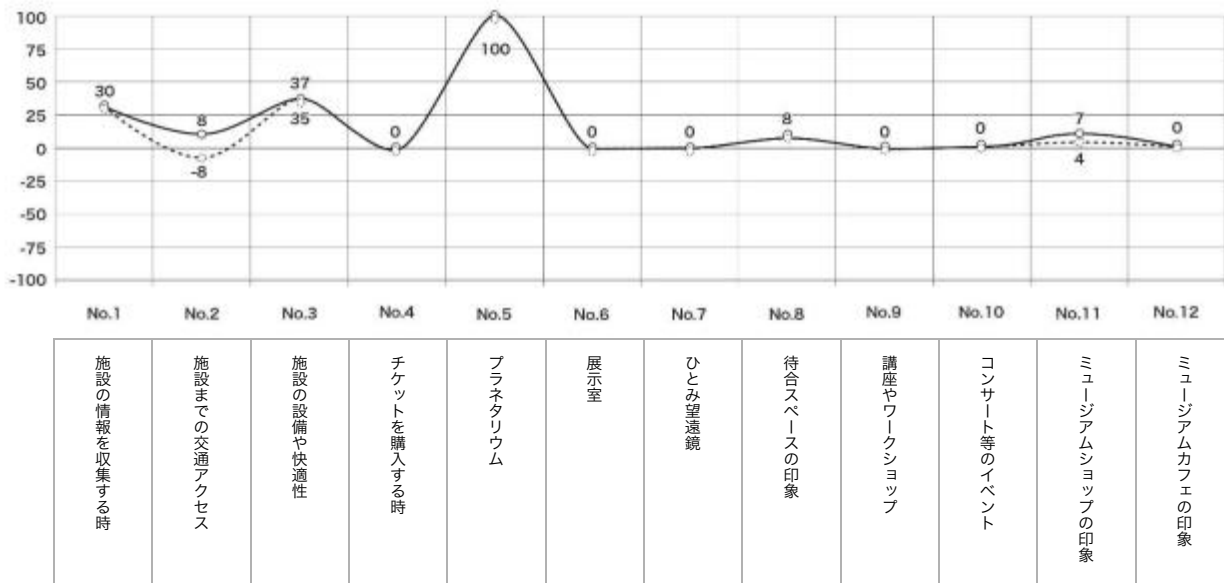
全体評価として、「重視している度合い・期待の大きさ」と来館者からの「実際の評価」の波形がほぼ一致していることから、至急改善を要する体験は見られず、概ね健全な施設運営がなされていると言える。

個別に評価を見ると、推奨度に最も影響を与えている体験は「プラネタリウム」であった。プラネタリウムの波形（山）が突出していることから、来館者の施設体験がプラネタリウムに大きく依存していることがうかがえ、この傾向は例年と同様である。

一方、推奨度を最も引き下げている体験は「施設までの交通アクセス」であり、改善効果がしやすい体験としても同様に抽出されている。これについても例年同様の傾向である。なお、今年度については、市民が交通アクセスのどの点に課題を感じているかを把握するため、追加の深堀調査を実施しており、その結果については別途集計を進めている。

注：ネット・プロモーター、ネット・プロモーター・システム、ネット・プロモーター・スコア及び、NPS は、ペイン・アンド・カンパニー、フレッド・ライクヘルド、NICE Systems, Inc.の登録商標又はサービスマークです。eNPS はペイン・アンド・カンパニー、フレッド・ライクヘルド、NICE Systems, Inc.の役務商標です。

【回答数 1088 件】



※上記分析の算出及び表現方法は、株式会社エモーションテックが保有する特許技術（第 6176813 号）に基づく

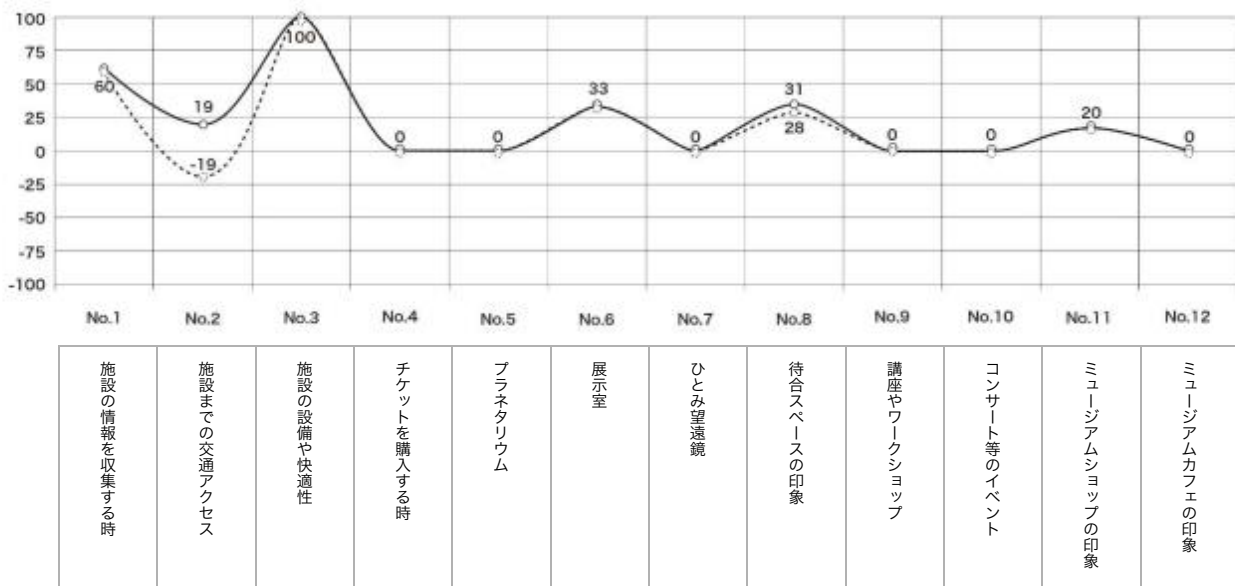
○推奨度 7 以上の集計

推奨度 7 以上の回答者のデータを基に作成したのが下記のマップである。このマップによって中立者以上の課題が可視化され、中立者を推奨者へと引き上げる施策の検討が可能となる。

個別に評価を見ると、推奨度に最も影響を与えている体験は「施設の設備や快適性」となった。推奨度 7 以上の来館者は、施設の温度管理や清潔さに対して好印象を抱いているものと考えられる。

一方で、推奨度を最も引き下げている体験及び改善効果が出やすい体験は「施設までの交通アクセス」となった。特に改善効果の観点では、上述の全集計グラフと比較して両波形の乖離が大きく、交通アクセスの改善は中立者を対象として有効性が高いことがうかがえる。

【回答数 944 件】



Ⅲ 2025 年度事業報告 資料

<企業オーナーサポーター一覧> ※敬称略・順不同

企業名	
株式会社太陽事務機	愈鍼 ANNEX
医療法人社団北四会	大町法律事務所
ワテックススペースベンチャーズ株式会社	トウホクメンテナンス株式会社
株式会社エルコム	島守クリニック
タマヤ計測システム株式会社	医療法人末武皮膚科
株式会社スターファイブ	NTT 東日本株式会社
株式会社あおい	行政書士法人きずな仙台
Six Stars Consulting 株式会社	錦エステート株式会社
はり処愈鍼	TMS 株式会社ゴルフ事業部
MURAYAMA 合同会社	株式会社 GEN
合同会社 Bridge	—

<個人オーナーサポーター一覧> ※敬称略・順不同

氏名			
奥山 博和	久保 いずみ	小野 康花	高橋 敦士
上畑 日登美	松本 大樹	小林 裕三子	他 3 名
小金澤 義彦	深川 ゆう子	笹氣 由里	—
板垣 秀美	渡邊 さつき	松本 好弘	—

<天文台学習利用実績>

		市内の学校		市外の学校		天文台学習総計	
		件数	入場者数	件数	入場者数	件数	入場者数
幼稚園		54	2,777	9	366	63	3,143
保育園・保育所		65	1,571	6	169	71	1,740
小学校	4 年	104	8,009	55	2,778	159	10,787
	6 年	30	2,221	2	61	32	2,282
	他	4	30	0	0	4	30
中学校	1 年	72	8,868	0	0	72	8,868
	他	5	86	0	0	5	86
高等学校		1	39	2	136	3	175
特別支援学校	小学部	3	15	0	0	3	15
	中学部	1	3	0	0	1	3
	高等部	0	0	0	0	0	0
合計		339	23,619	74	3,510	413	27,129

<独自事業 イベント一覧> ※敬称略

月	日	タイトル	出演者	内容	場所	参加人数
6	7	ベビープラネタリウム	—	乳幼児を対象とした プラネタリウムの投 映を行った。	プラネタリウム	70
9	6					118
12	6					226
3	7					278
7	19	希望の星展示会「『触れ てみませんか。私たち の宇宙に。』一視覚に障 害のある私たちの楽し み方ー」	—	視覚障害者施設の方 による点図のWS や宇宙や星に関する 雑貨等の販売を実施 した。	オープン スペース	—
12	20					
7月26日 8月23日 3月1日 4月25日		仙台市天文台×愛子天 空の湯そよぎの杜 期 間限定コラボ企画！ 癒しのUNI×BATH（ユ ニバース）	—	近隣施設の愛子天空 の湯そよぎの杜とお 風呂で“温浴”，プラ ネタリウムで“プラ ネタリウム浴”によ るコラボ企画を実施 した。プラネタリウ ムはコラボ企画限定 の「Star Light Healing Malama Hawaii」を期間中 の毎週土曜日（第1 土曜日を除く）に投 映した。	愛子天空の湯 そよぎの杜及び 仙台市天文台 プラネタリウム	178
8	30	ミュージックベル・ サマーコンサート	ミュージック ベルグループ cara*cara	ミュージックベルに よる天文台や宇宙を イメージした楽曲の サマーコンサートを 開催した。	オープン スペース	126
10	5	太陽と星と月とポリネ シアンダンス 2025	Maraino	星や月に関するポリ ネシアンダンスを披 露した。	オープン スペース	73

月	日	タイトル	出演者	内容	場所	参加人数
11	23	STAR&TRAIN 星と月と鉄道と 第4駅 (フォース・ステーション) ～かなえ星～	【主催】 描き鉄集団「ロコ」 【共催】 仙台市天文台 【協力】 東日本旅客鉄道株式会社東北本部, 仙台市交通局, 福島交通株式会社, 株式会社藤崎, 株式会社保安サプライ, 軌陸車テック株式会社, 交流機関車保存会 他	震災伝承・鉄道・天文をテーマとした絵画の展示や星に関係のある鉄道模型の走行, 線路保全用の特殊車両の展示, ミニコンサートなどを開催した。 また, 鉄道特化型のプラネタリウムの投映も実施した。 なお10月から11月には本企画と連動した作品展「天文台 de 描き鉄展～描く、伝える 星のふもとの復興鉄路～」をプレショーギャラリーで実施した。	加藤・小坂 ホール 学習室 オープン スペース 屋外駐車場 プラネタリウム	819
	24					
11	30	星の王子さま フルートとピアノの調べ	緒方早紀子	『星の王子さま』の朗読に合わせたピアノの弾き語りコンサートを行った。	オープン スペース	45
1	31	天文台まつり 2026	多数	天文台の開台を記念し, 市民参加型のおまつりを実施した。	全館	4,517
2	1					3,587
6月下旬 8月29日		七夕イベント装飾活動	—	仙台七夕や伝統的七夕などに関わる館内装飾を行った。	オープン スペース	—
11月下旬 12月25日		クリスマスイベント装飾活動	—	クリスマスツリーの館内装飾を行った。	オープン スペース	—

<観測研究業務事業一覧>

天文台スタッフ観測		
期間	テーマ	観測回数
4, 6, 7, 8, 9月	かんむり座T星の分光観測	6
4, 5月	1等星のスペクトル再測定	5

天文台スタッフ観測		
期間	テーマ	回数
4, 5 月	アルゴルの分光観測	6
5 月	C/2023 A3(Tsuchinshan-ATLAS)の撮像観測	3
5 月	C/2023 A3(Tsuchinshan-ATLAS)の分光観測	3
6, 11 月	一次処理用フラットデータ取得	2
9, 10 月	ひとみ望遠鏡による M31 アンドロメダ銀河の接近速度の測定	4

市民観測員育成講習			
月	日	タイトル	内容
8	4	教育センター研修	市内小中学校教諭を対象とした望遠鏡の操作研修を実施した。

公募共同観測		
期間	テーマ	観測回数
7-9 月	矮新星 SS Cyg の静穏期と増光期のスペクトル変化を見つける	2
1-3 月	食連星の分光観測	1

市民観測員観測		
期間	テーマ	観測回数
4-6 月	トランジット法による太陽系外惑星の観測と測光解析	2
	ひとみ望遠鏡による 2025 年 4 月から 6 月のかんむり座 T 星の測光観測と分光観測	1
7-9 月	トランジット法による太陽系外惑星の観測と測光解析	1
10-12 月	トランジット法による太陽系外惑星の観測と測光解析	1
1-3 月	トランジット法による太陽系外惑星の観測と測光解析	2

大学・関係機関との共同観測、連携観測		
期間	テーマ	観測回数
8, 1 月	環境省「夜空の明るさを測ってみよう」	2
12 月	中京大学「食連星と Blue straggler の分光観測」	2
1 月	中京大学「楕円軌道を持つ食連星の分光観測」	2

ひとみ望遠鏡体験観測、天文学者体験観測		
期間	テーマ	観測回数
4, 3 月	東北大学×中高生 体験観測のための予備観測 東北大学「サイエンス講座」	4
11, 12 月	東北大学「もしも君が杜の都で天文学者になったら…」	4

<展示ツアー参加者数>

項目／月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
開催回数	34	37	34	36	22	20	17	23	15	15	30	21	304
参加者数	255	367	283	343	234	112	127	143	76	46	205	95	2,286

<ワークショップ内容一覧>

開催頻度／日	タイトル	内容	参加者数
毎月1回	太陽の通り道をたどろう！ ～アナレンマのふしぎ～	日時計にメダルを取り付け、継続的に同時刻の太陽の軌跡をたどるワークショップ。晴天時のみ開催し、悪天時は翌週に延期して開催した。	55
年4回	星座を立体的に見てみる	空に見える星たちの距離がそれぞれ違うことを説明し、来館者とともに星座の立体模型の展示物を更新するワークショップ。春は北斗七星、夏ははくちょう座、秋はカシオペア座、冬はオリオン座の星の配置に替えた。	37
毎月1回	宇宙の“ぐるぐる”みーつけた！	惑星や銀河の回転といった「ぐるぐる」の動きや形を見つけるワークショップ。小学2年生までの親子5組10名が対象。	97
年6回	“石”のひみつにせまろう！	様々な石を比較し、予想と実験を通して本物の隕石を見つけるワークショップ。小学生以上の定員10名が対象。	21
年6回	太陽のふしぎにせまろう！	太陽黒点の記録から太陽活動の特徴について調べるワークショップ。小学3年生以上対象、定員8名。	20
10月19日 11月9日 12月7日	月のクレーターをつくろう	実験を通して、月のクレーターの生成理由と大きさの違いを確かめるワークショップ。小学生対象、定員15名。	18

<プレショーギャラリー展示一覧>

開催期間	タイトル	協力等（※敬称略）	内容
4月2日 6月29日	写真展「マルモリ・ナイト 2025」 一丸森町の星空に魅せられてー	小檜山裕行	角田市在住のアマチュア写真家・小檜山氏による丸森町の風景と星空を映した写真を展示した。
7月1日 8月29日	野草園×天文台 コラボ企画展 「星に願いを ～宇宙と植物から見た七夕～」	仙台市野草園	宇宙目線と植物目線から、七夕について紹介した。また、昨年野草園が70周年、今年天文台が70周年を迎えたことから両施設の歩みを年表で紹介した。

開催期間	タイトル	協力等（※敬称略）	内容
9月1日 10月6日	吉田ももこ作品展 ー子の星（ねのほし）ー	吉田ももこ	仙台出身の画家吉田ももこによる作品展を行った。
10月13日 11月24日	天文台 de 描き鉄展 ～描く、伝える 星のふもとの復興鉄路～	描き鉄集団「ロコ」	鉄道の日記念、鉄道絵画「描き鉄」と、鉄道員のエピソードで綴る、星界と鉄道、復興の奇跡と繋がりを紹介した。
11月28日 12月28日	東北大学天文同好会写真展 「星彩の一写」	東北大学天文同好会	東北大学天文同好会の皆さんによる天体写真を展示した。
1月5日 3月1日	仙台天文同好会写真展	仙台天文同好会	仙台天文同好会の皆さんによる天体写真を展示した。
3月3日 3月31日	震災特別展示 創作神話「そらのくじら」原画展	くどうひろこ	子ども向けに震災を伝える創作神話「そらのくじら」の原画を展示した。

<プラネタリウム投映記録>

番組		年間投映回数	年間入場者数
星空の時間	今夜の星空散歩	652	46,801
	合計	652	46,801
こどもの時間	プラネくんとあそぼう！	152	11,621
	合計	152	11,621
天文の時間	地動説ー惑星の運行から考える宇宙の姿ー	101	6,604
	合計	101	6,604
星と音楽の時間	仙台市天文台 70 周年特別投映 「昭和の名曲とふりかえる あのころの宇宙」	15	749
	JAPAN STARRY MUSIC FES.	18	1,225
	リクエスト特集～星空の下で聴きたい音楽～	7	457
	VOYAGE～音楽と巡る、人と星の航路～	8	579
	合計	48	3,010
その他の投映	夜空の明るさを考えてみよう	2	89
	アニメ『ゆるキャン△』シリーズ for プラネタリウム 星空キャンプにいこう！	59	6,787
	特別投映「伝統的七夕」	6	257
	特別投映「中秋の名月」	3	203
	ECLIPSE 奇跡の天体ショー 日食と月食	94	5,878
	合計	164	13,214

番組		年間放映回数	年間入場者数
震災特別番組	星よりも、遠くへ	11	460
	合計	11	460
ナイトプラネタリウム	スマホで星空撮影 in プラネタリウム	10	149
	人生で一度は見たい、空と宙	7	628
	台風 ～天体が生み出す大気の渦～	6	149
	45分でわかる 小学校理科の月と星	10	276
	100年の永遠 ープラネタリウムが映す星空への想い	6	223
	合計	39	1,425
総計		1,167	83,135

< 「星空の時間」 番組一覧 >

放映期間	タイトル	内容
通 年	今夜の星空散歩	同じ時季でもスタッフによって異なるアプローチで今夜の星空を生解説。スタッフと一緒に星空の多彩な楽しみ方を見つけましょう！ 星座を探せるようになりたい方や満天の星をご覧になりたい方にお勧めです！

< 「星空の時間『今夜の星空散歩』」 放映内容一覧 >

放映者	放映内容
迫 千紘	【5, 6, 3月】2つのひしゃく 【8月, 9月1日-20日, 12, 1月】南中で比べる星の高さ 【9月21日-30日, 10月】土星の環
須藤 未来	【4, 5月】銀河はどこ？ 【7, 8, 9月】今夜 星を見に行こう 【11, 12月】宝石の星めぐり 【2, 3月】誕生星座
高橋 知也	【4月】北斗七星からわかること 【6, 8, 9月】星っていくつあるの？ 【7月】さそり座 【10, 11月】アンドロメダ銀河 【12, 1月】中国の星座 【2月, 3月1日-24日】オリオン座 【3月25日-31日】北極星を探そう！
千田 華	【4, 5, 6月】目印から星座を探そう 【8, 9月】『銀河鉄道の夜』の星探し 【10月】惑星さがし
仲 千春	【5, 9, 10, 12月】“きぼう”をみよう！ 【1月】数字で楽しむ今夜の星空

投映者	投映内容
林 菜の子	【4 月】惑星の動きについて 【6 月】もっと知りたい！おとめ座 【7, 8 月】3 つの七夕 【10, 11 月】そもそも星座って何？ 【1, 2 月】いろんな星の結び方
細谷 直斗	【4, 5 月】宇宙の窓 【7, 8 月】七夕に願いを 【11, 12 月】星空ホエールウォッチング 【1 月】美しき冬の星空 【2, 3 月】星結び超入門
松下 真人	【6, 7 月】夏の大三角 【11 月】明るさが変わる星 【2, 3 月】冬の大三角
共 通	【11 月】土星の環の消失

< 「こどもの時間」 番組一覧 >

投映期間	タイトル	内容
通 年	プラネくんとあそぼう！	こどもたちとおはなしするのが大好きなプラネくん。みんなで遊びながら星や宇宙にふれあいます。 その日の気分によってちょっと雰囲気が変わるかも…？ 初めて星空にふれる，こどもとご家族向けの番組です！

< 「天文の時間」 番組一覧 >

投映期間	タイトル	内容
4 月 1 日 7 月 31 日	地動説 ー 惑星の運行から考える宇宙の姿ー	科学の進歩によって明らかになってきた宇宙の姿。しかしほんの数百年前まで，人々は地球を中心とする全く別の宇宙像を思い描いていた。星空の中を巡る惑星の動きを観察しながら，天文学者たちが考えた宇宙モデルや望遠鏡の登場による新発見について考えるオリジナル天文番組。

< 「星と音楽の時間」 番組一覧 >

投映期間	タイトル	内容
4 月 5 日 7 月 26 日	仙台市天文台 70 周年特別投映 「昭和の名曲とふりかえる あのころの宇宙」	仙台市天文台開台 70 周年を記念して，開台した昭和 30 年以降のヒット曲とともに，時を同じくして発展した宇宙開発の数々を紹介します。
8 月 2 日 11 月 29 日	JAPAN STARRY MUSIC FES.	仙台市天文台のプラネタリウムで，星にまつわる楽曲を集めたフェスを開催中！四季の星空をめぐりながら，曲の中にある宇宙をお楽しみください。みんなで盛り上がりましょう☆

放映期間	タイトル	内容
12月6日 1月24日	リクエスト特集 ～星空の下で聴きたい音楽～	満天の星とともに、あなたのお気に入りの1曲が聴けるかも？みなさんからのリクエスト楽曲の中から、各回5曲程度をご紹介します！さらに、2025年12月27日（土）と2026年1月24日（土）には、リクエスト数上位の楽曲をランキング形式で特別紹介します！この機会にとっておきの1曲をぜひお寄せください！
2月7日 3月28日	VOYAGE ～音楽と巡る、人と星の航路～	星空を見上げ、宇宙に思いを馳せてきた人々。その思いを、現代のアーティストたちが音楽で奏でます。星空や宇宙をテーマにした楽曲とともに、宇宙の航海者となって、人と星の繋がりをたどる旅に出かけましょう。

<「その他の放映」番組一覧>

放映期間	タイトル	内容
4月19日 7月12日	夜空の明るさを考えてみよう	夜空の明るさについての仕組みや、光が星の見え方にどのように影響するのかを考えるワークショップ。
8月1日 11月30日	アニメ『ゆるキャン△』シリーズ for プラネタリウム 星空キャンプにいこう！	女子高生たちのゆる～い野外活動を描いた大人気コミック『ゆるキャン△』。そのアニメシリーズがプラネタリウム番組になりました！ゆるキャン△メンバーがキャンプ場で見上げる星空をストーリーの中に織り交ぜた特別編です。
8月23日 8月29日	特別放映「伝統的七夕」	伝統的七夕をテーマに、七夕にゆかりのある天体や七夕の楽しみ方を紹介します。
10月4日 10月6日	特別放映「中秋の名月」	中秋の名月をテーマに、お月見がもっと楽しくなるような月の話題を紹介します。
12月1日 3月31日	ECLIPSE 奇跡の天体ショー 日食と月食	太陽と月が織りなす神秘的「皆既日食」や「金環日食」、ウユニ塩湖の空を彩る「皆既月食」、「金星食」や「土星食」など、韓国の天体写真家クォン・オチュルが仲間と追い続けた奇跡の瞬間をCG解説映像と共にお届けします。

<「震災特別番組」番組一覧>

放映期間	タイトル	内容
通 年	星よりも、遠くへ	東日本大震災の夜、大停電の被災地を満天の星が照らしていた。こんな星空を今まで見たことがない…予想だにしない苦難とともに被災者たちが見上げたのは、星空という名の「宇宙」だったー。「星空とともに」の第二章となる、プラネタリウム版ドキュメンタリー作品。

<「ナイトプラネタリウム」番組一覧>

放映期間	タイトル	内容
4月12日 6月28日	スマホで星空撮影 in プラネタリウム	あなたのスマホで星空撮影に挑戦してみませんか？ プラネタリウムでスマートフォンを使った撮影のコツをお伝えします！美しい星たちを、スマホの画面に写してみましょう。
7月12日 8月30日	人生で一度は見たい、空と宙	心温まる4つのエピソードが紡ぐ、ふたつのくそら>の物語。 昼間に広がる地球の空（そら）。夜に見られる宇宙の宙（ソラ）。地球に広がる、ふたつのくそら>は、実に多彩な景色を見せてくれます。 さあ、出かけましょう、一生に一度は出会いたい素敵な「空」と「宙」の光景とめぐり逢うために。
9月13日 10月25日	台風 ～天体が生み出す大気の渦～	「台風」。この巨大な渦は、地球の自転と大気が生み出す。そして太陽系の惑星でもさまざまな巨大な渦が発生している。さあ、天体が生み出す大気の渦、その姿を見ていこう！
11月8日 1月24日	45分でわかる 小学校理科の月と星	「月の形はどうして変わる？」「北極星の見つけ方は？」小学校で学習した天文の世界、今でも覚えていますか？ プラネタリウムで月や星を観察しながら、身近な天文学に触れていきましょう。 かつて学んだ内容を思い出してみたい大人も、今まさに月や星に興味を持ち始めたこどもも楽しめる内容です。
2月14日 3月28日	100年の永遠 —プラネタリウムが映す星空への想い	どのようにして、プラネタリウムは生まれ、現代まで発展してきたのでしょうか？本場ドイツで、プラネタリウム誕生100年を記念して制作された本番組は、人類の「星空への想い」と、プラネタリウムの文化史を現代までたどります。「星空への思い」という普遍的なテーマは、この先も永遠に色あせることはありません。プラネタリウムの歴史を通して、「星空への想い」をはせてみませんか。

<定期観望会開催実績>

月	主な観望天体	回数	参加人数
4	火星, アルギエバ, M35 (散開星団)	4	95
5	火星, ミザール, M3 (球状星団)	5	10
6	春の1等星, コル・カロリ, M3 (球状星団)	4	115
7	夏の1等星, ラス・アルゲティ, M13 (球状星団)	4	143
8	夏の1等星, アルビレオ, M13 (球状星団)	5	421
9	夏の1等星, アルビレオ, M15 (球状星団)	4	194
10	土星, 海王星, M31 (アンドロメダ銀河)	4	15
11	土星, 天王星, 海王星	5	341
12	木星, 土星, 天王星	4	155
1	木星, 天王星, M42 (オリオン星雲)	4	445
2	木星, 天王星, M42 (オリオン星雲)	4	161
3	木星, アルギエバ, M35 (散開星団)	4	181
合計		51	2,276

<ひとみ望遠鏡関連イベント一覧>

開催日	イベント名	内容	回数	参加人数
毎日	ひとみ望遠鏡案内	操作や実験をしながら, ひとみ望遠鏡の特長や性能を紹介した。	769	15,739
毎週土曜日	天体観望会	ひとみ望遠鏡を使用して, 季節ごとに見頃の天体を観望した。詳細は定期観望会開催実績 (p.43) 参照。	51	2,276

<定期観望会以外の開催内容一覧>

月	日	イベント名	内容	種別	参加人数
11	3	昼間の天体観望会 (東北文化の日)	ひとみ望遠鏡を使って昼間に見える天体を観察した。	昼間の観望会	278
1	31	昼の天体観望会 (天文台まつり)	ひとみ望遠鏡を使って昼間に見える天体を観察した。	昼間の観望会	605
2	1	昼の天体観望会 (天文台まつり)	ひとみ望遠鏡を使って昼間に見える天体を観察した。	昼間の観望会	387
3	3	特別観望会「皆既月食をみよう!!」	惑星広場で皆既月食を観察。悪天候のため他地域のライブ配信を視聴した。	その他の観望会	67

<望遠鏡関連講座・講習会・ミーティング一覧>

月	日	タイトル	内容	参加人数
6	6	第1回 ユーザーズミーティング	参加者中、11名がライセンス更新。	14
7	19	はじめての望遠鏡教室 ～手作り望遠鏡編～	小学校低学年を対象とした手作り望遠鏡 の制作・練習の講座。	22
	26			25
8	2			22
9	5	第2回 ユーザーズミーティング	参加者中、8名がライセンス更新。	12
9	27	天体望遠鏡教室 ～初心者編～	小学校低学年から中学生を対象にした経 緯台式望遠鏡の組立・操作の講座。	10
11	1	天体望遠鏡教室 ～上級者編～	小学校高学年以上、一般を対象にした赤 道儀式望遠鏡の組立・操作の講座。	5
11	9	観察室望遠鏡利用資格講習会（ライセン スA講習会）	観察室に設置している望遠鏡の利用に必 要な操作資格の認定講習会。	10
12	7	第3回 ユーザーズミーティング	参加者中、6名がライセンス更新。	8
12	14	ライセンスB講習会	観察室で利用できる冷却 CCD カメラ利 用資格の認定講習会。今年度は希望者が いなかったため、実施はしなかった。	0
3	1	第4回 ユーザーズミーティング	参加者中、8名がライセンス更新。	13

<定期移動観望会開催記録>

項目/月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
開催回数	1	5	2	6	8	7	8	6	5	3	4	2	57
参加人数	96	191	54	635	481	201	371	283	125	124	124	54	2,739

<定期移動観望会出動先一覧> ※悪天候等のため中止

月	日	開催場所
4	25	西公園
5	2	海岸公園冒険広場 ※
	4	北中山三丁目町内会
	9	やまいちサステナパーク七北田公園
	17	杜の広場公園
	23	西公園
	30	榴岡公園
6	19	オーエンス泉岳自然ふれあい館
	24	仙台市児童相談所
7	4	やまいちサステナパーク七北田公園
	11	西公園
	18	桂市民センター
	20	東北大学川内キャンパス

月	日	開催場所
7	21	二岩集会所
	25	南吉成小学校
8	1	仙台市野草園
	4	大野田児童館
	6	緑彩館（七タナイトフェス）
	8	ふれあいエスプ塩竈
	10	楽天球場
	14	ジョイポリススポーツ仙台
	15	東向陽台公民館
	29	大倉ふるさとセンター
9	5	榴岡公園
	7	北中山小学校
	8	仙台みらい高等学園

月	日	開催場所
9	12	海岸公園冒険広場
	14	大郷町中央公民館
	19	杜の広場公園
	26	南中山市民センター
10	5	八木山南小学校
	10	七郷市民センター
	12	多賀城市山王地区公民館
	16	大和町公民館
	17	やまいちサステナパーク七北田公園
	19	北三番丁公園
	24	東中田市民センター
	26	将監市民センター
11	31	西公園 ※
	3	上余田公会堂
	4	オーエンス泉岳自然ふれあい館
	9	八木山小学校
	14	田子市民センター

月	日	開催場所
11	21	杜の広場公園
	23	リフノス利府町図書館
12	12	海岸公園冒険広場 ※
	19	福室市民センター
	21	利府町総合体育館
	23	あけの平公民館
	25	北中山小学校
	26	向陽台小学校
1	9	やまいちサステナパーク七北田公園
	16	六郷市民センター
	23	西公園
2	6	手倉田くじら保育園
	13	杜の広場公園
	20	榴岡公園
	27	片平市民センター
3	13	海岸公園冒険広場
	20	七ヶ浜国際村

<講師派遣先一覧>

月	日	派遣先
7	25	楽学プロジェクト
9	12	せんだい豊齢学園
10	24	六本木天文クラブ（オンライン）
11	13	第一中学校
	16	広瀬図書館
1	15	多賀城市中央公民館

<ブレインサポーター一覧> ※敬称略・五十音順

氏名	委嘱分野	氏名	委嘱分野
市川 隆	天文学	高田 淑子	天文教育普及
伊藤 芳春	観測	千葉 柁司	天文学
井上 邦雄	物理学	長島 康雄	天文教育普及
井龍 康文	地球科学	福島 邦幸	学校教育
大谷 栄治	地球惑星科学	星野 誠	気象学・広報
黒須 潔	仙台藩の天文学史	吉田 和哉	宇宙工学

<大学・研究機関との連携活動一覧>

月	日	タイトル	講師（※敬称略）	内容	参加人数
10	11	宮城教育大学×仙台市天文台連携企画スペースラボ in 仙台市天文台第 1 回「ヨハネス・ケプラーの偉業」	内山哲治 （宮城教育大学理科教育講座教授）	ヨハネス・ケプラーの人生をたどりつつ、ケプラーの偉業について実際に計算もしながら確認した。	12
10	18	宮城教育大学×仙台市天文台連携企画スペースラボ in 仙台市天文台スペシャル「せいざのひみつ」	高田淑子 （宮城教育大学理科教育講座教授）	特別支援学校に通う（知的障害をもつ）生徒を対象に、PC を使ったゲームや惑星広場の探検、工作を通して地球の仲間探しを行った。	2
11	15	宮城教育大学×仙台市天文台連携企画スペースラボ in 仙台市天文台第 2 回「宇宙空間をミニ体験しよう」	笠井香代子 （宮城教育大学理科教育講座教授）	簡単な真空装置や液体窒素を使った実験を行い、宇宙の世界をミニ体験した。	18
2	1	宮城教育大学×仙台市天文台連携企画スペースラボ in 天文台まつり「宇宙で役立つ 3D プリンター」	笠井香代子 （宮城教育大学理科教育講座教授）	宇宙で役立つ 3D プリンターについて、実験や観察などをしながら、しくみや使い方を体験した。	120

<社会教育施設との連携活動一覧>

月	日	タイトル	場所	内容	連携先	参加人数
7月1日 8月29日		野草園×天文台コラボ企画展 「星に願いを～宇宙と植物から見た七夕～」	プレショー ギャラリー	宇宙と植物、それぞれの目線から七夕について紹介する展示を行った。	仙台市 野草園	—
7	6	野草園×天文台コラボクラフトワークショップ「出張！野草園工房～七夕飾りづくり～」	加藤・小坂 ホール	松ぼっくりを使ったミニ吹き流しを作成した。	仙台市 野草園	61
8	1	野草園×天文台コラボ企画「星空を楽しむ会」	仙台市野草園	雨天のため星の観望はできなかったが、野草園スタッフによる植物のお話や天文台スタッフによる星のお話を行い、ベガ号の見学を行った。	仙台市 野草園	11

<トワイライトサロン内容一覧> ※敬称略

回数	月	日	タイトル	ホスト	参加人数
819	4	5	春の巨大星座めぐり 星座の広さはどう計る？	土佐誠	22
820		12	小さな満月、大きな満月 月の大きさはなぜ変わる？	土佐誠	29
821		19	巨大ブラックホールが活動する銀河 おとめ座の楕円銀河 M87	土佐誠	23
822		26	銀河の渦巻き構造 何が起きているの？	土佐誠	21
823	5	3	かみのけ座銀河団 暗黒物質の謎	土佐誠	25
824		10	新移動天文車ベガ号大解剖	土佐誠	15
825		17	天動説 VS 地動説 宇宙像の大転換	土佐誠	37
826		24	春の星座 アークトゥルスとスピカ 二星を比べてみよう！	土佐誠	23
827		31	火星がだんだん遠くなる！火星旅行を考えてみよう	土佐誠	11
828	6	7	夏至ってどんな日？	土佐誠	18
829		14	おかげさまで開台 70 周年 since 1955 仙台市天文台が見た宇宙	土佐誠	11
830		21	検証、私の UFO 体験 6 月 24 日「UFO の日」フェイク情報に注意！	土佐誠	15
831		28	7 月 2 日・ベーテ先生誕生日おめでとう！ 星はなぜ明るく輝くの？	土佐誠	38
832	7	5	七夕の星	土佐誠	16
833		12	経度の原点（本初子午線）どのように決めたの？	土佐誠	23
834		19	夏の星空 銀河鉄道の風景	土佐誠	31
835		26	夏の星空に見る 星誕生の風景	土佐誠	40
836	8	2	やさしい『極限時空』(1) 重力レンズ	土佐誠	26
837		9	やさしい『極限時空』(2) ブラックホール	土佐誠	39
838		16	やさしい『極限時空』(3) 重力波	土佐誠	35
839		23	七夕伝説の由来	土佐誠	30
840		30	やさしい『極限時空』(4) 1) ブラックホール Q&A 2) ブラックホールの蒸発	土佐誠	34
841	9	6	9 月 8 日未明 皆既月食！	土佐誠	36
842		13	秋の星空 (1) ケフェウス座、カシオペア座の星々	土佐誠	14
843		20	ソラリストを 100 倍楽しむ 月のクレーターの謎にせまる！	土佐誠	33
844		27	10 月 6 日・中秋の名月 満ちてゆく月を楽しむ	土佐誠	25
845	10	4	土星を見よう！環の見え方に注目	土佐誠	21
846		11	秋の星空 (2) アンドロメダ座 ペルセウス座 ギリシャ神話と天体	土佐誠	28
847		18	フカボリ アンドロメダ銀河・M31	土佐誠	29

回数	月	日	タイトル	ホスト	参加人数
848	10	25	太陽の近況 活動のピークはいつ？	土佐誠	12
849	11	1	11月5日・今年最大の満月！月の大きさはなぜ変わる	土佐誠	28
850		8	彗星の正体 深宇宙からの訪問者	土佐誠	34
851		15	天王星と海王星の発見	土佐誠	28
852		22	太陽の近況と低緯度オーロラ 日本でオーロラが見えたワケ！	土佐誠	28
853		29	ドップラー先生誕生日おめでとう！ 宇宙におけるドップラー効果	土佐誠	26
854	12	6	星はすばる 深掘り プレアデス星団	土佐誠	20
855		13	ふたご座流星群を見よう 極大：12月14日17時ころ	土佐誠	27
856		20	クリスマスの星 三博士を導いた星の正体は？	土佐誠	20
857		27	年末年始の星空・月・太陽	土佐誠	29
858	1	10	木星を見よう 観察シーズン到来！	土佐誠	43
859		17	オリオン座大研究（1）オリオン座の星々	土佐誠	36
860		24	オリオン座大研究（2）大星雲・星のゆりかご	土佐誠	27
861		31	仙台市天文台 70 年の歩み①西公園時代	土佐誠	54
862	2	1	仙台市天文台 70 年の歩み②錦ヶ丘時代	土佐誠	47
863		7	宇宙を解き明かすスペクトル 2月7日、W・ハギンズ先生誕生日おめでとう！	土佐誠	32
864		14	ガリレオ先生誕生日おめでとう！ 1564年2月15日誕生	土佐誠	26
865		21	水星を見つけよう！ 2月20日 東方最大離角	土佐誠	28
866		28	3月3日（火） 皆既月食を見よう	土佐誠	35
867	3	7	3.11の星空と大地	土佐誠	27
868		14	春分の天文学 3月20日・春分の日	土佐誠	33
869		21	ソラリストを100倍楽しむ 遠ざかる銀河の謎	土佐誠	35
870		28	宵の明星 金星を見つけよう	土佐誠	36

<講座・講演会一覧>

月	日	タイトル	講師（※敬称略）	内容	参加人数
4	20	アースデイ講演会「過去の地球環境変動と人類」	井龍康文（東北大学大学院理学研究科教授）	地球環境の変動をテーマに、過去に起こった地球環境変動や未来の展望について考えた。	9

月	日	タイトル	講師（※敬称略）	内容	参加人数
7	27	仙台市天文台×東北大学大学院理学研究科公開サイエンス講座2025年度第1回「宇宙のはじまりと星の誕生 ～最初の星をさぐる旅～」	大向一行（東北大学大学院理学研究科天文学専攻教授）	宇宙がどのようにして星や銀河を生み出したのかを最新の研究やシミュレーション映像とともにお話しいただいた。	69
2	22	仙台市天文台×東北大学大学院理学研究科公開サイエンス講座2025年度第2回「星のかげらを手にしてー隕石と小惑星に隠された生命誕生のヒント」	古川善博（東北大学大学院理学研究科地球科学専攻准教授）	隕石や小惑星に含まれる有機物の分析から、生命の材料がどのように生まれたのかを探る最新の研究についてお話しいただいた。	62
3	8 15	仙台市天文台×東北大学大学院理学研究科公開サイエンス講座2025年度第3回「探究☆サイエンスチャレンジャー」	中川広務（東北大学大学院理学研究科地球物理学専攻准教授） 三澤浩明（東北大学大学院理学研究科附属惑星プラズマ・大気研究センター准教授）	全国の中高生を対象に、ひとみ望遠鏡を使った観測研究の体験プログラムを実施した。	16

<撮影・収集した天体・現象一覧>

月	日	内容
4	5	月
	12	月
	13	今年最少の満月
	27	月
5	8	日暈
	16	日暈
	27	日暈
6	1	月、火星
	24	火球
	27	三日月と水星
	29	月
7	19	金星
8	9	月
	12	ペルセウス座流星群
	16	プレアデス星団食
	20	太陽（プロミネンス）

月	日	内容
8	22	日暈
9	6	月
	22	流星
	30	火球
10	9	流星
	23	Lemmon 彗星
	28	Lemmon 彗星
	29	Lemmon 彗星
11	14	土星
	15	土星
	21	土星
12	1	太陽（フレア）
	14	ふたご座流星群
	20	ミラ（変光星）
1	9	土星
	16	ミラ（変光星）

月	日	内容
1	18	ミラ（変光星）
	30	ミラ（変光星）
2	2	太陽（フレア）
	7	ミラ（変光星）
	16	太陽

月	日	内容
2	23	火球
3	2	日暈
	21	月
	22	日暈
	30	太陽

<発信した天文情報一覧>

月	内容
4	金星最大光度（-4.8 等）
	今年最小の満月
5	火星とプレセペ星団が接近
6	レグルス・アルギエバ・月が並ぶ
	火星とレグルスの接近
7	夏休みおすすめ天文情報
	金星とアルデバランが並ぶ
8	ペルセウス座流星群極大
	金星と木星の接近
	プレアデス星団食
	金星と木星の接近
	月・水星・金星・木星の会合
	伝統的七夕
9	皆既月食
	金星とレグルスが接近
10	中秋の名月
	センダイヘンジ
	レモン彗星
11	後の月
	今年最大の満月
	プレアデス星団食

月	内容
11	土星の環の傾きが極細
12	ふたご座流星群極大
	プレアデス星団食
	月とスピカの接近
	2026 年天文情報一覧
1	初日の出
	しぶんぎ座流星群極大
	レグルス食
	ミラ極大
2	センダイヘンジ
	月とプレアデス星団の接近
3	レグルス食
	皆既月食
随時	各月の天文現象（毎月 1 日）
	月の満ち欠け（新月・上弦・満月）
	二十四節季
	月と惑星の接近
	水星・金星最大離角
その他	かんむり座 T 星 新星爆発
	星図カレンダー
	惑星の見ごろ

<天文相談件数>

項目／月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
件数	16	35	19	23	21	15	24	24	17	10	5	5	214

<取材件数一覧>

項目／月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
テレビ	0	0	0	0	4	2	0	1	0	2	4	4	17
ラジオ	3	3	3	3	4	4	3	4	4	4	2	2	39
新聞	4	3	1	1	4	4	3	3	3	1	0	1	28
雑誌	3	1	5	4	3	2	1	3	1	2	3	6	34
ウェブサイト	2	2	1	5	4	3	3	2	3	3	4	3	35
合計	12	9	10	13	19	15	10	13	11	12	13	16	153

<ウェブサイトアクセス数一覧>

項目／月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
アクセス数	20,727	24,709	23,237	45,615	45,757	37,863	35,965	25,775	29,125	26,247	27,625	26,329	368,974

<SNS フォロワー数一覧>

項目／月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
facebook	4,379	4,374	4,373	4,369	4,366	4,356	4,344	4,340	4,336	4,332	4,327	4,328
X	13,037	13,051	13,104	13,154	13,185	13,248	13,330	13,356	13,402	13,436	13,561	13,592
Instagram	6,148	6,181	6,218	6,332	6,341	6,378	6,442	6,534	6,569	6,601	6,648	6,711

IV 資料

1 仙台市天文台条例

昭和四三年三月三〇日

仙台市条例第五号

改正 昭和四五年一月条例第一号

昭和五一年三月条例第二三号

昭和五五年三月条例第二七号

昭和五八年三月条例第二号

昭和六三年一二月条例第一三二号

平成九年三月条例第六号

平成一九年一〇月条例第六一号

平成三一年三月条例第三号

(設置)

第一条 天文学に関する学習活動の支援を通じて、人間、地球及び宇宙のつながりについての市民の理解を深めることを目的として、天文台を設置する。

(昭六三、一二・平一九、一〇・改正)

(名称及び位置)

第二条 天文台の名称及び位置は、次のとおりとする。

名称	位置
仙台市天文台	仙台市青葉区錦ヶ丘九丁目二十九番地の三十二

(昭四五、一・昭六三、一二・平一九、一〇・改正)

(事業)

第三条 天文台は、第一条の目的を達成するため、次に掲げる事業を行う。

- 一 天体観測の指導助言及びプラネタリウムによる天体現象の解説
- 二 天文学に関する観測研究並びに資料の収集、保管及び展示
- 三 天文学の普及啓発に関する行事の開催及び刊行物の発行
- 四 学校理科教育における天体の観察実習の指導助言
- 五 その他天文学に関する知識の普及啓発に必要と認められる事業

(昭六三、一二・平一九、一〇・改正)

(観覧料)

第四条 天文台を利用しようとする者は、別表第一に定める観覧料を納入しなければならない。

2 市長は、別表第一に掲げる区分（特別展を除く。）の利用について、通用期間一年の定期観覧券を発行することができる。

3 前項の定期観覧券を発行する場合の観覧料は、五千円を超えない範囲内で市長が定める。

(平一九、一〇・全改)

(使用の許可)

第五条 別表第二に掲げる設備を使用しようとする者は、あらかじめ教育委員会の許可を受けなければならない。

2 教育委員会は、次の各号のいずれかに該当するときは、前項の許可をしないことができる。

- 一 公の秩序を乱すおそれがあるとき

- 二 天文台の管理上支障を及ぼすおそれがあるとき
- 三 前二号に掲げるもののほか、教育委員会が不適當と認めるとき
(平一九, 一〇・全改)

(使用料)

第六条 設備の使用料は、別表第二に定めるとおりとする。

- 2 使用料は、前条第一項の許可の際に納入しなければならない。ただし、市長が必要と認めるときは、使用料を別に定める納期限までに納入させることができる。

(平一九, 一〇・追加)

(観覧料等の返還)

第七条 既納の観覧料及び使用料は、返還しない。ただし、天災その他自己の責めによらない事由により利用し、又は使用することができないと市長が認めるときは、その全部又は一部を返還することができる。

(平一九, 一〇・追加)

(観覧料等の減免)

第八条 市長は、特別の事由があると認めるときは、観覧料及び使用料を減免することができる。

(平一九, 一〇・追加)

(使用許可の取消し等)

第九条 教育委員会は、次の各号のいずれかに該当するときは、第五条第一項の許可を取り消し、又は天文台の利用を制限し、若しくは停止することができる。

- 一 第五条第一項の許可を受けた者がこの条例又はこの条例に基づく規則に違反したとき
- 二 第五条第二項各号のいずれかに該当することとなったとき

(平一九, 一〇・追加)

(指定管理者)

第十条 教育委員会は、天文台の管理運営上必要と認めるときは、地方自治法（昭和二十二年法律第六十七号）第二百四十四条の二第三項に規定する指定管理者（以下「指定管理者」という。）に天文台の管理を行わせることができる。

(平一九, 一〇・追加)

(指定管理者が行う業務の範囲)

第十一条 前条の規定により指定管理者に天文台の管理を行わせる場合に当該指定管理者が行う業務は、次に掲げる業務とする。

- 一 第五条第一項の許可に関する業務
- 二 第三条各号に掲げる事業の企画及び実施に関する業務
- 三 天文台の維持管理に関する業務
- 四 前三号に掲げるもののほか、教育委員会が必要と認める業務

- 2 前項の場合における第五条及び第九条の規定の適用については、これらの規定中「教育委員会」とあるのは、「指定管理者」とする。

(平一九, 一〇・追加)

(指定管理者が行う管理の基準)

第十二条 指定管理者は、この条例及びこの条例に基づく規則の定めるところに従い、適正に天文台の管理を行わなければならない。

(平一九, 一〇・追加)

(委任)

第十三条 この条例の施行に関し必要な事項は、市長又は教育委員会が定める。

(平一九, 一〇・旧第六条繰下)

附 則

この条例の施行期日は、市長が定める。

（昭和四三年五月規則第二一号で、昭和四三年五月一五日から施行）

附 則（昭四五、一・改正）抄

この条例は、昭和四十五年二月一日から施行する。

附 則（昭五一・三・改正）

この条例は、昭和五十一年四月一日から施行する。

附 則（昭五五、三・改正）

この条例は、昭和五十五年四月一日から施行する。

附 則（昭和五八、三・改正）抄

（施行期日）

- 1 この条例は、昭和五十八年四月一日から施行する。

附 則（昭六三、一二・改正）抄

この条例は、昭和六十四年四月一日から施行する。

附 則（平九、三・改正）抄

（施行期日）

- 1 この条例は、平成九年四月一日から施行する。

（経過措置の原則）

- 2 次項から附則第十三項までに定めるものを除き、この条例の施行の日（以下「施行日」という。）前になされた使用の許可その他これに類する行為に係る使用料又は手数料については、なお従前の例による。

附 則（平一九、一〇・改正）

この条例は、市長が定める日から施行する。

（平成二〇年三月規則第五号で、平成二〇年七月一日から施行）

附 則（平三一、三・改正）抄

（施工期日）

- 1 この条例は、平成三十一年十月一日から施行する。

（使用料及び利用料金に関する経過措置の原則）

- 2 附則第四項及び第五項に定めるものを除き、この条例の施行の日（以下、「施工日」という。）前になされた使用の許可その他これに類する行為（次項において「使用の許可等」という。）に係る使用料及び利用料金については、なお従前の例による。

- 3 施行日以後になされた使用の許可について、施工日前に使用の予約その他の使用の許可等に準ずるものとして市長又は教育委員会が認める行為があった場合においては、当該行為を使用の許可等とみなして前項の規定を適用することができる。

別表第一（第四条関係）（平一九、一〇・旧別表・全改、平三一、三・改正）

区分			金額（一人につき）
常設展	個人利用	一般	六一〇円
		高校生	三五〇円
		中学生・小学生	二五〇円
	団体利用	一般	四八〇円
		高校生	二八〇円
		中学生・小学生	二〇〇円
プラネタリウム	個人利用	一般	六一〇円
		高校生	三五〇円
		中学生・小学生	二五〇円
	団体利用	一般	四八〇円
		高校生	二八〇円
		中学生・小学生	二〇〇円
常設展・プラネタリウム 共通	個人利用	一般	一, 〇〇〇円
		高校生	六一〇円
		中学生・小学生	四〇〇円
	団体利用	一般	八一〇円
		高校生	四八〇円
		中学生・小学生	三二〇円
天体観望会		一般・高校生	二〇〇円
		中学生・小学生	一〇〇円
特別展			三, 〇〇〇円を超えない 範囲内で市長が定める額
備考			
一 団体利用とは、三十人以上の団体による利用をいう。			
二 団体利用においては、三十人に一人の割合で無料とする。			

別表第二（第五条、 第六条関係）（平一九、一〇・追加）

区分		金額（一回につき）
観察用望遠鏡	口径四十センチメートル	一、〇〇〇円
	口径二十五センチメートル	五〇〇円
	口径十八センチメートル	五〇〇円
	口径十五センチメートル	三〇〇円

2 仙台市天文台条例施行規則

昭和四三年五月一五日
仙台市教育委員会規則第八号

(趣旨)

第一条 この規則は、仙台市天文台条例（昭和四十三年仙台市条例第五号。以下「条例」という。）の施行に関し必要な事項を定めるものとする。（平二〇，四・改正）

(開館時間)

第二条 天文台の開館時間は、午前九時から午後五時まで（土曜日にあっては、午前九時から午後九時三十分まで）とする。ただし、条例第五条第一項の許可（第八条において「使用許可」という。）を受けた者については、この限りでない。

2 前項の規定にかかわらず、教育委員会が必要と認めるときは、天文台の開館時間を臨時に変更することができる。（平二〇，四・全改）

(休館日)

第三条 天文台は、次の各号のいずれかに該当する日（以下「休館日」という。）は開館しない。

- 一 水曜日（その日が国民の祝日に関する法律（昭和二十三年法律第七十八号）に規定する休日（以下「休日」という。）に当たるときは、その直後の休日でない日）
- 二 毎月第三火曜日（その日が休日に当たるときは、その直後の休日でない日）
- 三 十二月二十九日から翌年の一月三日までの日

2 前項の規定にかかわらず、教育委員会が必要と認めるときは、休館日に開館し、又は休館日以外の日に開館しないことができる。（昭四六，四・平一四，一二・平一七，三・平二〇，四・平二五，八・改正）

(遵守事項)

第四条 天文台においては、次に掲げる事項を遵守しなければならない。

- 一 天文台の建物、設備若しくは資料等を損傷し、若しくは汚損し、又はそのおそれのある行為をしないこと
- 二 火災、盗難、人身事故その他の事故の防止に努めること
- 三 許可を得ないで資料等の撮影、模写等をしないこと
- 四 所定の場所以外の場所で喫煙又は飲食をしないこと
- 五 他の入館者に迷惑となる行為をしないこと
- 六 承認を得ないで寄付金の募集、物品の販売又は飲食物の提供を行わないこと
- 七 その他係員の指示に従うこと（平二〇，四・全改）

(入館の制限等)

第五条 教育委員会は、次の各号のいずれかに該当する者に対して、天文台への入館を制限し、又は退館を命ずることができる。

- 一 適当な指導者又は付添人のない満六歳未満の者
- 二 泥酔者
- 三 他人に危害を及ぼし、若しくは他人の迷惑となるおそれのある物を携帯し、又は動物（盲導犬その他教育委員会が必要と認めるものを除く。）を伴う者
- 四 係員の指示に従わない者
- 五 その他管理上支障があると認められる者（平二〇，四・追加）

(観覧手続)

第六条 天文台を利用しようとする者は、条例別表第一に掲げる区分に応じた観覧券（定期観覧券を含む。第十条において同じ。）の交付を受け、展示室、プラネタリウム室又は大型望遠鏡観測室の入口においてこれを係員に提示しなければならない。

2 前項の観覧券は、観覧料の納入の際に交付する。ただし、教育委員会が特別の事由があると認めるときは、この限りでない。（平二〇、四・追加、平二八、三・改正）

（定期観覧券）

第七条 条例第四条第二項の定期観覧券に係る観覧料は、別表のとおりとする。

2 前条第二項の規定にかかわらず、定期観覧券の観覧料を納入した者は、定期観覧券に代えて引換券の交付を受けることができる。

3 前項の引換券は、他人に贈与することができる。

4 前条第二項の規定にかかわらず、引換券を有する者は、これと引換えに定期観覧券の交付を受けることができる。（平二〇、四・追加、平二八、三・改正）

（使用許可の手続）

第八条 使用許可を受けようとする者は、使用申込書を教育委員会に提出しなければならない。

2 前項の使用申込書の受付は、使用日に行うものとする。

3 教育委員会は、使用許可をしたときは、使用許可証を交付するものとする。（平二〇、四・追加）

（市長が必要と認めるときの使用料の納期限）

第九条 条例第六条第二項ただし書に規定する市長が必要と認めるとき及び別に定める納期限については、教育長が定める。（平二〇、四・追加）

（観覧料等の返還）

第十条 条例第七条ただし書の規定により既納の観覧料又は使用料（以下「観覧料等」という。）を返還するときは、交付した観覧券、引換券又は使用許可証と引き換えに、観覧料等の全部又は一部を返還するものとする。（平二〇、四・追加、平二八、三・改正）

（観覧料等の減免）

第十一条 条例第八条の規定により観覧料等の減免を受けようとする者は、減免申込書を教育委員会に提出しなければならない。ただし、教育委員会が減免申込書の提出を必要としない事由があると認める者については、この限りでない。（平一五、九・追加、平二〇、四・旧第五条繰下・改正）

（指定管理者に管理を行わせる場合における規定の適用）

第十二条 条例第十条の規定により指定管理者（地方自治法（昭和二十二年法律第六十七号）第二百四十四条の二第三項に規定する指定管理者をいう。以下同じ。）に天文台の管理を行わせる場合における第五条及び第八条の規定の適用については、これらの規定中「教育委員会」とあるのは、「指定管理者」とする。（平二〇、四・追加）

（実施細目）

第十三条 この規則の実施細目は、教育長が定める。（平二〇、四・追加）

附 則

（施行期日）

1 この規則は、公布の日から施行する。

（仙台市天文台管理規則等の廃止）

2 次に掲げる規則は、廃止する。

一 仙台市天文台管理規則（昭和三十五年仙台市教育委員会規則第五号）

二 仙台市天文台処務規則（昭和三十五年仙台市教育委員会規則第六号）

附 則（昭四六、四・改正）

この規則は、昭和四十六年五月一日から施行する。

附 則（昭四七、三・改正）

この規則は、昭和四十七年四月一日から施行する。

附 則（昭六二，九・改正）

この規則は，昭和六十二年十月一日から施行する。

附 則（平二，三・改正）

この規則は，平成二年五月一日から施行する。

附 則（平五，三・改正）

この規則は，平成五年四月一日から施行する。

附 則（平一四，一二・改正）

この規則は，平成十五年四月一日から施行する。

附 則（平一五，九・改正）

この規則は，公布の日から施行する。

附 則（平一七，三・改正）

この規則は，平成十七年四月一日から施行する。

附 則（平二〇，四・改正）

この規則は，平成二十年七月一日から施行する。

附 則（平二五，八・改正）

この規則は，平成二十六年四月一日から施行する。

附 則（平二八，三・改正）

この規則は，平成二十八年四月一日から施行する。

別表（第七条関係）

（平二〇，四・追加）

区分		金額（一人につき）
個人利用	一般	三，〇〇〇 円
	高校生	一，八〇〇 円
	中学生・小学生	一，二〇〇 円

3 仙台市天文台望遠鏡機材占有利用に関する規約

第1章 総則

第1条 (目的)

この規約は、仙台市天文台市民観察室に設置する観察用望遠鏡及び望遠鏡機材の利用（以下「占有利用」という。）に関して必要な事項を定め、占有利用の円滑な運用を行うことを目的とする。

第2条 (定義)

この規約において「望遠鏡機材」とは、仙台市天文台（以下「天文台」という。）が所有する次のものをいう。

- (1) 市民観察室設置観察用望遠鏡（①、②、③、④、⑤、⑥）鏡筒及び架台（以下「望遠鏡」という。）
①40cm 反射赤道儀 ②15cm 屈折赤道儀 ③アストロカメラ（ハイパーボライド）
④アストロカメラ（BRC） ⑤15cm 大型双眼鏡（40×150） ⑥15cm 大型双眼鏡（25×150）
- (2) 望遠鏡制御機器
- (3) 望遠鏡に装着して用いることができるカメラ、観測装置等すべての機材

第2章 望遠鏡利用資格

第3条 (望遠鏡を利用できる者)

望遠鏡を利用できる者は、満18歳以上で、屈折望遠鏡及び反射望遠鏡の基本的な仕組み（経緯台・赤道儀等の架台形式を含む）を理解し、組み立て操作できる者であって、仙台市天文台長（以下「天文台長」という。）が認定する次のいずれかの望遠鏡利用ライセンス所持者とする。

- (1) 望遠鏡利用ライセンスA（以下「ライセンスA」という。）
- (2) 望遠鏡利用ライセンスB（以下「ライセンスB」という。）

第4条 (ライセンスA)

- 1 前条のライセンスAは、次に掲げる目的で利用できる資格とする。
 - (1) 天体観望
 - (2) 望遠鏡本体に取り付けたカメラ（CCDカメラを除く）を用いた天体撮影
- 2 ライセンスA所持者が利用できる望遠鏡機材は、次のとおりとする。
 - (1) 市民観察室設置望遠鏡（①、②、③、④、⑤、⑥）
 - (2) 各望遠鏡用接眼鏡（アイピース）一式
 - (3) 各望遠鏡用移動式制御装置
 - (4) カメラボディ
 - (5) カメラレンズ
 - (6) 各望遠鏡撮影用機材（アダプター・アタッチメント・フィルター等）一式

第5条 (ライセンスB)

- 1 第3条のライセンスBは、次に掲げる目的で利用できる資格とする。
 - (1) 前条第1項に掲げる目的
 - (2) 望遠鏡本体に取り付けた冷却CCDカメラを用いた天体撮影
- 2 ライセンスB所持者が利用できる望遠鏡機材は、次のとおりとする。
 - (1) 市民観察室設置望遠鏡（①、②、③、④、⑤、⑥）
 - (2) 各望遠鏡用接眼鏡（アイピース）一式
 - (3) 各望遠鏡用移動式制御装置
 - (4) カメラボディ
 - (5) カメラレンズ
 - (6) 各望遠鏡撮影用機材（アダプター・アタッチメント・フィルター等）一式

(7) 冷却 CCD カメラ機材一式

第6条（望遠鏡利用ライセンスの取得条件）

1 望遠鏡利用ライセンスを取得するための条件は、次の各号に掲げるものとする。

(1) ライセンスA

(ア) 天文台が実施する「望遠鏡利用資格講習会（ライセンスA）（以下「講習会A」という。）を受講し、試験に合格すること

(イ) 本規約を遵守することについて同意すること

(2) ライセンスB

(ア) ライセンスAを所持していること

(イ) 冷却CCDの基本的な仕組みを理解し、組み立て操作ができること

(ウ) 仙台市天文台が実施する「望遠鏡利用資格講習会（ライセンスB）（以下「講習会B」という。）を受講し、試験に合格すること

(エ) 本規約を遵守することについて同意すること

2 前項各号に規定する講習会の開催日及び内容は、天文台長が別に定める。

第7条（望遠鏡利用ライセンス証の交付）

天文台長は、前条第1項に規定する条件を満たした者に、該当する望遠鏡利用ライセンス証を交付する。

第8条（望遠鏡利用ライセンスの登録）

望遠鏡利用ライセンス証を交付された者は、望遠鏡利用ライセンス登録カードに必要事項を記入し、登録を受けなければならない。また、登録内容に変更が生じた場合は、天文台長に速やかに変更を届け出なければならない。

第9条（望遠鏡利用ライセンスの更新）

望遠鏡利用ライセンスの更新は、望遠鏡利用ライセンス取得日から1年の間ごとに、1回以上、第22条に規定する望遠鏡利用者連絡会（以下「ユーザーズミーティング」という。）に参加した場合に有効期限の一年延長を認める。

第10条（望遠鏡利用ライセンスの停止）

天文台長は、次のいずれかの場合、望遠鏡利用ライセンスを6か月間停止することができる。

- (1) 第12条第3項に反した場合
- (2) 所持する望遠鏡利用ライセンスで利用を認められていない望遠鏡機材を利用した場合
- (3) 他の利用者に対して迷惑行為を行った場合
- (4) 望遠鏡機材を紛失又は故意に故障若しくは破損させた場合
- (5) 望遠鏡機材及び利用者の安全に関する天文台職員の指示に反する行為を行った場合

第11条（望遠鏡利用ライセンスの取消）

天文台長は、次のいずれかに該当する場合は、望遠鏡利用ライセンスを取り消すことができる。

- (1) 第10条の各号に掲げる行為を重ねて行った場合
- (2) 第9条に規定する望遠鏡利用ライセンスの更新手続きを行わなかった場合
- (3) 望遠鏡利用ライセンス所持者自らが取り消しを申し出た場合

第3章 占有利用

第12条（占有利用の条件）

- 1 占有利用できる者は、仙台市天文台条例（以下「条例」という。）第5条第1項に規定する使用許可（以下「使用許可」という。）を受け、かつ、本規約を遵守することに同意した者とする。
- 2 占有利用に際しては、利用者の中に望遠鏡利用ライセンス所持者がいなければならない。
- 3 望遠鏡機材の操作は、望遠鏡利用ライセンス所持者が必ずこれを行わなければならない。望遠鏡利用ラ

イセンスを有しない者が操作しようとした場合、利用を共に行う望遠鏡利用ライセンス所持者は、これを制止しなければならない。

- 4 前条の規定にかかわらず、望遠鏡への冷却 CCD カメラの着脱は、天文台職員が行うものとし、天文台職員以外の者にはこれを認めない。

第 13 条（占有利用日等）

- 1 占有利用日は、毎週土曜日及び天文台長が指定する日とする。
- 2 占有利用することができる時間は、貸出日の 17:00～22:15 とする。
- 3 天文台長は、特別の事由があると認められる場合は、前項に規定する時間以外の占有利用を認めることができる。

第 14 条（占有利用の人数）

- 1 占有利用の人数は、利用申請者を含めて望遠鏡 1 台につき 3 名までとする。
- 2 天文台長は、特別の事由があると認められる場合は、前項の規定を超える利用人数を認めることができる。

第 15 条（観察時の居室の利用）

- 1 占有利用を行う者は、観察時に仙台市天文台 3 階の「観察室」、「制御室」、「観察デッキ」、「観察待機室」、「男女トイレ」及び「給湯室」を利用できるものとする。
- 2 前項に規定する各室の利用時間は、使用許可を受けた時間帯とする。
- 3 第 1 項に規定する各室の利用にあたっては、室内及び備品に汚損等のないようにし、退室時に利用者が利用開始時の状態に復するものとする。

第 16 条（占有利用の予約）

- 1 占有利用の予約は、望遠鏡利用ライセンス所持者のみがこれを行うことができる。
- 2 占有利用の予約の手続は、天文台長が別に定める。

第 17 条（占有利用の申込・審査・許可）

- 1 占有利用の予約者は、仙台市天文台条例施行規則（以下「規則」という。）第 8 条第 1 項及び 2 項の規定に基づき、占有利用日当日に占有利用の申込を行うものとする。
- 2 天文台長は、前項の申込があった場合に、次の項目を審査する。
 - (1) 望遠鏡利用ライセンス所持の状況
 - (2) 利用日時
 - (3) 利用設備及び機器
 - (4) 利用人数
- 3 天文台長は、前項の審査の結果、適当と認める場合は規則第 8 条第 3 項に規定する使用許可証を交付するものとする。
- 4 使用許可を受けた者は、使用許可を受けた範囲において占有利用ができる。

第 18 条（使用責任）

- 1 占有利用者は、その終了にあたり、望遠鏡機材を原状回復するとともに、天文台職員による占有利用終了確認を受けなければならない。
- 2 占有利用時における望遠鏡機材の破損、紛失等の事故については、使用許可を受けた者がその責を負うものとする。ただし、占有利用者の責めに帰すべき事由に該当しないと認められる場合はこの限りでない。

第 19 条（占有利用の中止）

- 1 次のいずれかの場合、占有利用を直ちに中止し、天文台職員の指示に従わなければならない。
 - (1) 降雨又は降雪が始まった場合
 - (2) 雪や雨などが嵐に乗って飛ばされてきた場合

- (3) 湿度が 95%を超えた場合
- (4) 風速が 15m 毎秒を超えた場合
- (5) 落雷の危険がある場合
- (6) その他、天文台職員から占有利用の中止の指示があった場合
- 2 スライディングルーフを開けて観測準備を行った場合は、その日の占有利用は行われたものとみなす。
また、悪天候等の理由で占有利用が行えなかった日についての振替日の設定は行わない。
- 3 突発的な天文現象が起きた場合に、占有利用時間の一部又は全部を、天文台の観測のために使用する場合は、占有利用者と天文台が協議の上、占有利用日を振替えるものとする。

第 20 条（使用料）

- 1 占有利用の使用料については条例別表第二に規定するとおりとする。
- 2 使用料の減免については、仙台市天文台管理運営要綱第 7 条に規定するとおりとする。

第 21 条（著作権）

- 1 占有利用者が望遠鏡機材で撮影した写真・映像・画像等は、撮影者及び仙台市が著作権を有し、仙台市及び仙台市天文台が教育や市民へのサービス提供を目的として利用する場合は、著作者の個別の承諾なく、当該著作物を無償で 사용할 ことができるものとする。
- 2 占有利用者は、望遠鏡機材で撮影した写真・映像・画像等の使用にあたっては、次の基準に従わなければならない。

使用方法	使用の可否	使用条件
私的かつ著作権を失わない範囲で利用する。	可	天文台のクレジットを表記すること
私的だが、著作権を失う可能性のある利用をする。	不可	
研究目的で利用する。	可	天文台のクレジットを表記すること
営利を目的として利用する。	不可	

- 3 前項表中の天文台のクレジットの表記方法は、原則として「写真提供：仙台市天文台」とする。

第 4 章 望遠鏡利用者連絡会（ユーザーズミーティング）

第 22 条（ユーザーズミーティング）

- 1 望遠鏡利用ライセンス所持者の望遠鏡に関する技術向上等を図るため、ユーザーズミーティングを開催する。
- 2 ユーザーズミーティングの内容は主として次のようなものとする。
 - (1) 望遠鏡機材の現状
 - (2) 望遠鏡機材の利用方法に関する変更事項等
 - (3) 仙台市天文台に対する要望、意見等の交換
 - (4) その他、望遠鏡利用ライセンス所持者に周知すべき事項
 - (5) 望遠鏡機材の利用に関する技術研修
- 3 ユーザーズミーティングは、年間 4 回開催する。ただし、必要があると認める場合はこの限りでない。
- 4 ユーザーズミーティングの開催日については、天文台長が別に定める。

第 23 条（実施細目）

この規約の実施細目は、天文台長が別に定める。

附則

この規約は、平成 20 年 12 月 6 日から施行する。

平成 26 年 9 月 12 日一部修正。

平成 30 年 5 月 9 日一部修正。

令和 5 年 11 月 3 日一部修正。

令和 6 年 3 月 29 日一部修正。

4 仙台市天文台望遠鏡活用指針

仙台市天文台のミッションを前提とし、市民に開かれた天文台としての伝統と、新天文台の望遠鏡利用を促進するために、社会教育施設としての啓発レベルから、学術研究にも耐えうるレベルまでの幅広い観測要望に応じられるようにする。具体的な活用内容は下表のとおり。

なお、仙台市天文台における「観測」を以下のように定義する。

『観測とは、天体や宇宙の理解を深めるために、目的と計画を持って天体データ（画像等）を取得し、解析や科学的な考察を加えた結果を報告・発表・公開する一連の作業をいう。』

【利用者分類凡例】

- ・市民 A → 一般的な関心を持つ市民。マスコミ報道によって関心を持った市民。
- ・市民 B → 継続的な関心を持つ市民。初心者から愛好者までの天文ファン。
- ・市民 C → 高い関心を持ち、自主的に活動している市民。サークル・天文クラブ員。
- ・市民 D → 指導者、研究者。

※新天文台望遠鏡仕様等検討委員会作成「新天文台大型望遠鏡の仕様等に関する報告書（2003 年 8 月）」より引用

【望遠鏡分類凡例】

- ・小望遠鏡 → 移動可能な汎用型望遠鏡。仙台市天文台には高橋製作所製 10 cm 屈折望遠鏡がある。
- ・中望遠鏡 → 設置型望遠鏡。仙台市天文台では市民観察室および移動天文車ベガ号設置の望遠鏡を想定する。
- ・ひとみ望遠鏡 → 口径 1.3m の反射式望遠鏡。

利用者分類別の望遠鏡活用事例

		機 材	事業事例	対 象	活用内容例	場 所
市民 A	要	ひとみ望遠鏡	一般観望会（サタ☆スタ）	一 般	天体観望	観測室
	要	ひとみ望遠鏡	大型望遠鏡案内	一 般	ひとみ望遠鏡の見学	観測室
	要	ひとみ望遠鏡	幼児団体向け望遠鏡案内	保育園・所，幼稚園	ひとみ望遠鏡の見学	観測室
	要	ひとみ望遠鏡	小学校4年生天文台学習（望遠鏡案内）	小学校	ひとみ望遠鏡見学・晴天時天体観望	観測室
	要	ひとみ望遠鏡	小学校6年生天文台学習（望遠鏡案内）	小学校	ひとみ望遠鏡見学・晴天時天体観望	観測室
	要	小中望遠鏡	移動天文台（ベガ号観望会）	一 般	公園等の地域出張観望会	地域（天文台外）
	要	小中望遠鏡	特別観望会	一 般	天文現象の観望	天文台各室
	要	中望遠鏡	中学校天文台学習（望遠鏡学習）	中学校	観察室での太陽観察等	観察室
	付	小望遠鏡	サポーター/連携団体観望会	一 般	サタ☆スタ時のキャノピー前観望会	キャノピー前
	付	小望遠鏡	初心者のための望遠鏡講座	児童（親子）	小型望遠鏡の操作・観望	学習室等
市民 B	要	ひとみ望遠鏡	ひとみ望遠鏡体験観測会	中学生，高校生，一般	ひとみ望遠鏡での観望・記念撮像	観測室
	要	ひとみ望遠鏡	インターネット観測体験会	小学校，中学校	インターネット操作（年1校程度）	観測室
	要	中望遠鏡	観察室望遠鏡貸出（講習）	ライセンスAユーザー	中型（観察室）望遠鏡講習・貸出	観察室
	要	中望遠鏡	学生望遠鏡貸出	小学生，中学生，高校生	ライセンスAユーザー同伴での観察	観察室
	要	小望遠鏡	小型望遠鏡貸出	許可者	講習修了者への小型望遠鏡貸出	地域（天文台外）
	要	小中望遠鏡	小中学校教員養成講習	教職員	望遠鏡取り扱い操作講習	観察室等
市民 C	要	ひとみ望遠鏡	市民観測員育成講習（観測提案講習等）	市民観測員希望者	大型望遠鏡操作・観測提案書講習等	観測室等
	付	ひとみ望遠鏡等	天文学者体験観測「もし天」等	大学（高校生）	東北大・天文専攻等との企画	天文台各室
	要	中望遠鏡	望遠鏡＋冷却CCDカメラ貸出（講習）	ライセンスBユーザー	中型（観察室）望遠鏡貸出	観察室
市民 D	要	ひとみ望遠鏡	市民観測員観測	プロポーザル提案認定者	プロポーザル内容に基づく観測	観測室
	要	ひとみ望遠鏡	共同研究観測	プロポーザル提案認定者	プロポーザル内容に基づく観測	観測室
連 携	要	ひとみ望遠鏡	委託観測（提案共同観測）	認定研究者・団体	提案内容に基づく観測	観測室
	付	ひとみ望遠鏡他	開発研究（提案共同開発・測定）	認定団体・企業	提案内容に基づく観測	観測室等
独 自	要	ひとみ望遠鏡他	天文台スタッフ観測	スタッフ	広報，展示，研究，機器開発等	観測室等

↑

※ 要：要求水準で実施（モニタリング）が求められているもの，
付：要求にはないが付帯的に行うもの

5 仙台市天文台運営協議会委員

(任期：令和6年4月1日から令和8年3月31日まで)

氏 名	所属・役職名	備 考
秋山 正幸	東北大学大学院理学研究科 教授	
飯野 正義	仙台市小学校教育研究会 理科研究部会 仙台市立東二番丁小学校 校長	
岩間 友希	認定NPO法人 まちづくりスポット仙台 ディレクター	
黒柳 あずみ	東北大学総合学術博物館 准教授	
西海枝 恵	仙台市中学校教育研究会 理科研究部会 仙台市立東華中学校 校長	
田村 恵子	フリーアナウンサー	
中尾 優美子	(公財) 仙台観光国際協会 MICE事業部 MICE推進課長 兼 MICE推進係長	
西山 正吾	宮城教育大学理科教育講座 准教授	
山口 裕之	宮城県高等学校教育研究会 理科研究会 地学部会 宮城県立支援学校岩沼学園高等学園 川崎キャンパス 教諭	
湯蓋 典子 (新任)	仙台市PTA協議会 副会長	令和7年7月1日－ 令和8年3月31日まで

(敬称略・五十音順)

6 株式会社仙台天文サービスについて

仙台市天文台は、仙台市（※1）が行うPFI（※2）方式による公共事業として株式会社仙台天文サービスによって整備・維持管理・運営が行われている。

株式会社仙台天文サービスは、このPFI事業を推進するために設置された特別目的会社（SPC※3）である。

※1）仙台市は、仙台市天文台の設置者。

※2）PFI（Private Finance Initiative）方式とは、公共事業を実施するための手法の一つで、地方公共団体が発注者となり民間の資金とノウハウを活用して事業を行うこと。

※3）SPC（Special Purpose Company）

SPC構成企業と役割

・伊藤忠商事株式会社（伊藤忠）	⇒代表企業・プロジェクトマネジャー
・株式会社NTTファシリティーズ（NTT-F）	⇒設計・望遠鏡・維持管理
・株式会社五藤光学研究所（五藤光学）	⇒運営・プラネタリウム
・戸田建設株式会社（戸田）	⇒建設
・株式会社トータルメディア開発研究所（トータルメディア）	⇒展示・運営協力
・株式会社橋本店（橋本）	⇒建設

SPC協力企業

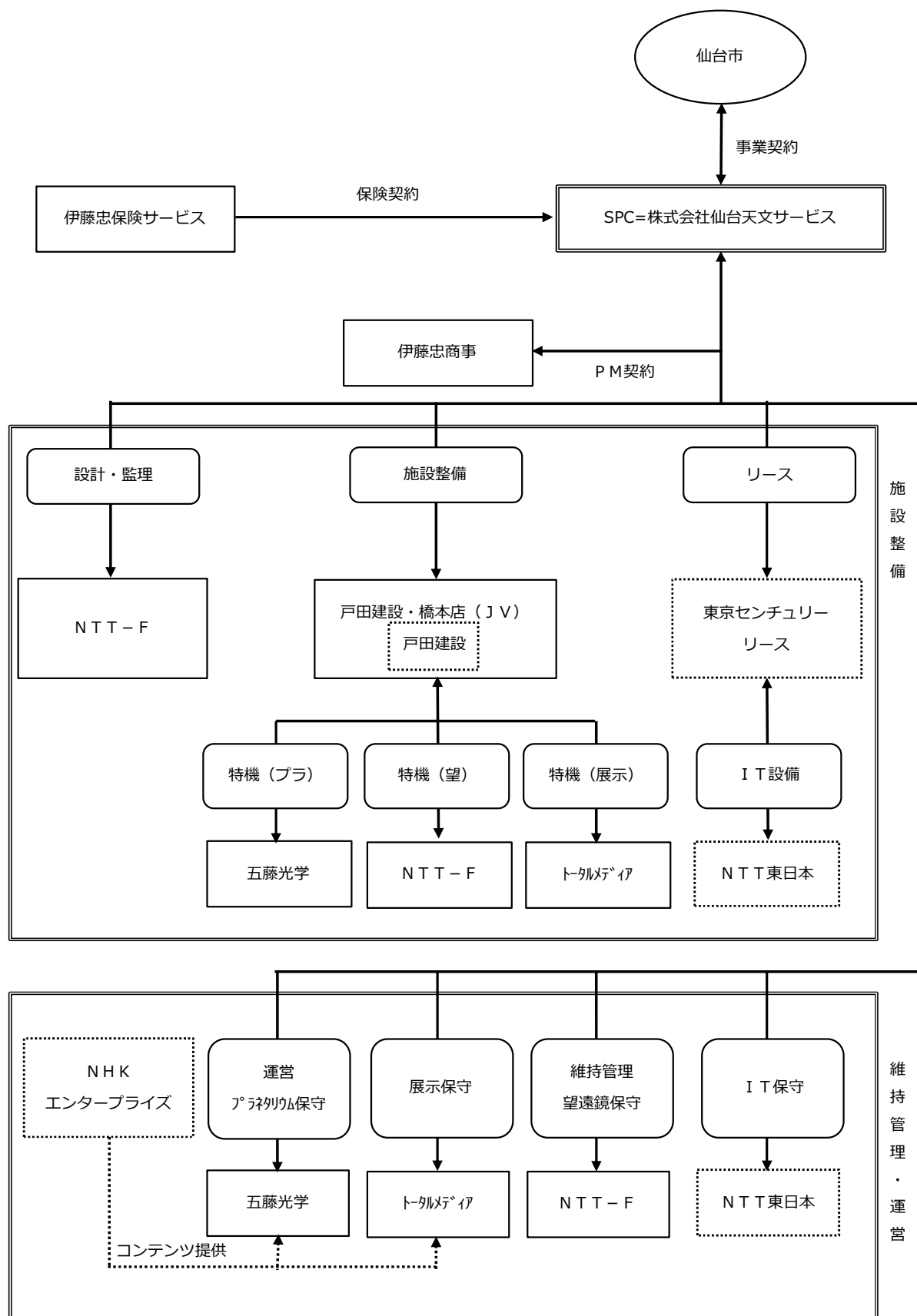
- ・東日本電信電話株式会社（NTT東日本）
- ・株式会社NHKエンタープライズ

SPC構成員（2026年3月31日現在）

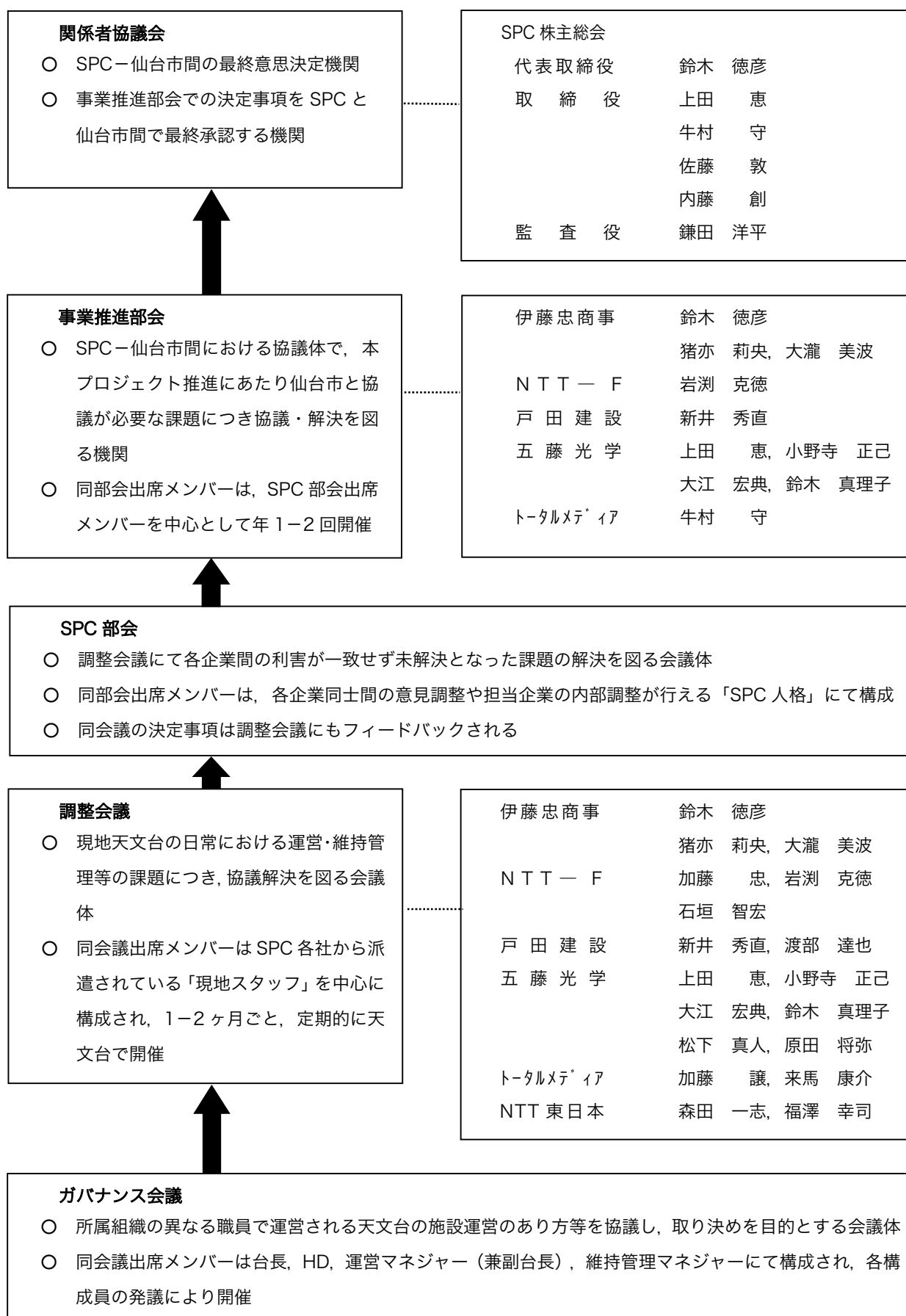
・代表取締役	鈴木 徳彦
・取締役	上田 恵
	牛村 守
	佐藤 敦
	内藤 創
・監査役	鎌田 洋平
・プロジェクトマネジャー	猪亦 莉央
・ヘルプデスク	大瀧 美波
・運営担当部長	上田 恵

（役職別・五十音順）

＜事業運営形態図＞



<SPC 会議体系図>



仙台市天文台年報 第 18 号

2026 年 6 月 30 日 発行

編集発行 仙台市天文台

〒989-3123

仙台市青葉区錦ヶ丘 9 丁目 29-32

TEL 022-391-1300 FAX 022-391-1301

URL www.sendai-astro.jp

北緯 38°15'22"99 東経 140°45'18"56

標高 165m